

令和 **4** 年度

萩市当初予算の概要



萩観光キャンペーン「GO TO 萩」



令和4年2月
萩市総務部財政課

目 次

I 予算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1

1 予算の規模

- (1) 予算規模一覧
- (2) 一般会計予算規模の推移
- (3) 特別会計予算規模の推移
- (4) 企業会計（支出額ベース）予算規模の推移

2 予算の特色

- (1) 一般会計・歳入の状況
- (2) 一般会計・歳出の状況
- (3) 特別会計の状況
- (4) 企業会計の状況

II 萩市の財政事情・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7

1 歳入・歳出総額、市税、地方交付税、市債の推移（普通会計）

2 市債発行額と公債元金との差、市債残高の推移（普通会計）

3 基金及び市債残高の状況

- (1) 健全な財政運営
- (2) 基金の状況（一般会計・特別会計）
- (3) 市債残高の状況（一般会計・特別会計・企業会計）

4 主な財政関係指標

III 各部局別予算の概要・・・・・・・・・・・・ P 13

I 予算の概要

令和4年度一般会計当初予算（案）の総額は、

前年度同額の298億8,000万円を計上しました。

令和4年度の当初予算は、「5つの良し」のまちづくりを基本とした「明るく元気な萩市」の実現に向け、「萩市基本ビジョン」のもと、重要課題に積極的に取り組む予算としています。

なかでも人口減少、少子化対策として、中学校に通う生徒の学校給食費の助成をするなど、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るとともに、引き続き、産業・経済を活性化させ雇用を創出することにより、若者等の移住・定住を促進させる課題に取り組みます。

農林水産業においては、担い手不足対策として、特定地域づくり事業協同組合を支援するとともに、新たな産業振興施策に積極的に対応した予算としています。

また、各総合事務所が主体となり、地域事業懇話会と一体となり作成した「地域事業計画」のもと、地域の魅力化を推進するため、花を活用し交流人口の拡大を図るなど、明るく元気な萩市を創出します。

一般会計当初予算の特色

1. 中学校における給食費の助成や多子世帯への誕生祝金制度の創設など、子育ての幸せが実感できるまちづくりに取り組む予算
2. 次世代農業経営拡大支援事業や特定地域づくり事業協同組合への支援など、産業活力があふれるまちづくりに取り組む予算
3. 地域で花を活用した交流促進事業や地域振興に資する新たな住民活動への補助など、だれからも愛されるまち、求められるまちづくりに取り組む予算

1 予算の規模

(1) 予算規模一覧

区 分	令和4年度（案）	令和3年度	増 減 額	増減率 （％）
一般会計	298 億 8,000 万円	298 億 8,000 万円 (303 億 3,246 万 3 千円)	— (△4 億 5,246 万 3 千円)	— (△1.5)
特別会計	146 億 2,380 万円	149 億 3,790 万円 (149 億 4,314 万 3 千円)	△3 億 1,410 万円 (△3 億 1,934 万 3 千円)	△2.1 (△2.1)
企業会計 (支出額ベース)	92 億 7,866 万 8 千円	94 億 91 万 6 千円	△1 億 2,224 万 8 千円	△1.3
合 計	537 億 8,246 万 8 千円	542 億 1,881 万 6 千円 (546 億 7,652 万 2 千円)	△4 億 3,634 万 8 千円 (△8 億 9,405 万 4 千円)	△0.8 (△1.6)

(2) 一般会計予算規模の推移

年 度	当初予算額	増 減 額	増減率 (%)
令和4年度(案)	298 億 8,000 万円	— (△4 億 5,246 万 3 千円)	— (△1.5)
令和3年度	298 億 8,000 万円 (303 億 3,246 万 3 千円)	5 億円 (9 億 5,246 万 3 千円)	1.7 (3.2)
令和2年度	293 億 8,000 万円	1 億 1,000 万円	0.4
令和元年度	292 億 7,000 万円	△8 億 7,000 万円	△2.9

(3) 特別会計予算規模の推移

年 度	当初予算額	増 減 額	増減率 (%)
令和4年度(案)	146 億 2,380 万円	△3 億 1,410 万円 (△3 億 1,934 万 3 千円)	△2.1 (△2.1)
令和3年度	149 億 3,790 万円 (149 億 4,314 万 3 千円)	△5 億 1,630 万円 (△5 億 1,105 万 7 千円)	△3.3 (△3.3)
令和2年度	154 億 5,420 万円	△3,430 万円	△0.2
令和元年度	154 億 8,850 万円	1 億 5,460 万円	1.0

(4) 企業会計(支出額ベース)予算規模の推移

年 度	当初予算額	増 減 額	増減率 (%)
令和4年度(案)	92 億 7,866 万 8 千円	△1 億 2,224 万 8 千円	△1.3
令和3年度	94 億 91 万 6 千円	3 億 2,481 万 3 千円	3.6
令和2年度	90 億 7,610 万 3 千円	349 万 7 千円	0.0
令和元年度	90 億 7,260 万 6 千円	△2 億 4,891 万 8 千円	△2.7

※令和3年度欄の()内は、市長選挙後の政策的経費等を追加した6月補正後予算

2 予算の特色

(1) 一般会計・歳入の状況

区 分	令和4年度(案)		令和3年度		比 較	
	当初予算額	構成比 (%)	当初予算額	構成比 (%)	増 減 額	増減率 (%)
市税	50 億 7,562 万円	17.0	50 億 2,627 万 5 千円	16.8	4,934 万 5 千円	1.0
地方譲与税	3 億 4,470 万円	1.2	2 億 6,830 万円	0.9	7,640 万円	28.5
地方消費税交付金	10 億円	3.3	9 億 5,200 万円	3.2	4,800 万円	5.0
地方交付税	118 億 5,000 万円	39.7	112 億 5,000 万円	37.7	6 億円	5.3
国・県支出金	53 億 8,226 万 3 千円	18.0	52 億 562 万 7 千円	17.4	1 億 7,663 万 6 千円	3.4
繰入金	21 億 5,076 万 5 千円	7.2	19 億 4,369 万 6 千円	6.5	2 億 706 万 9 千円	10.7
うち財調基金	13 億 8,472 万 9 千円	4.6	12 億 2,633 万 8 千円	4.1	1 億 5,839 万 1 千円	12.9
その他	7 億 6,603 万 6 千円	2.6	7 億 1,735 万 8 千円	2.4	4,867 万 8 千円	6.8
市債	20 億 9,340 万円	7.0	31 億 3,890 万円	10.5	△10 億 4,550 万円	△33.3
その他	19 億 8,325 万 2 千円	6.6	20 億 9,520 万 2 千円	7.0	△1 億 1,195 万円	△5.3
合 計	298 億 8,000 万円	100.0	298 億 8,000 万円	100.0	—	—

◎主な増減要因

【市税】

個人市民税については、令和3年度予算において、新型コロナウイルス感染症による減収を見込んでいましたが、大きな影響が見受けられなかったことから、令和4年度予算については、増額して計上しています。

【地方譲与税】

令和4年度地方財政対策において、地方譲与税収入が増加する見込みであることが示されたことから、増額して計上しています。

【地方交付税】

普通交付税については、令和4年度地方財政対策において、地方交付税総額を増額することが示されたことから、増額を見込み104億円を計上しています。

【繰入金】

財源不足に対応するため、財政調整基金から13億8,472万9千円を繰り入れることとしています。また、合併特例基金について、小中学校等の設備整備及び地域の道路維持等の財源として2億6,900万円の繰入れを計上しています。

【市債】

ケーブルテレビ放送光ファイバー整備事業、萩阿武川温泉改修事業が本格化しますが、光ファイバー整備事業、萩田万川温泉センター改修事業等の竣工や令和4年度地方財政対策において、臨時財政対策債を大幅に減額することが示されたことから、大きく減少しています。

(2) 一般会計・歳出の状況

区 分	令和4年度(案)		令和3年度		比 較	
	当初予算額	構成比 (%)	当初予算額	構成比 (%)	増 減 額	増減率 (%)
人件費	59 億 4,030 万 1 千円	19.9	58 億 2,176 万 8 千円	19.5	1 億 1,853 万 3 千円	2.0
扶助費	43 億 7,693 万 3 千円	14.7	44 億 5,300 万円	14.9	△7,606 万 7 千円	△1.7
公債費	32 億 3,032 万 2 千円	10.8	33 億 5,114 万 7 千円	11.2	△1 億 2,082 万 5 千円	△3.6
投資的経費	31 億 4,591 万 7 千円	10.5	31 億 7,028 万 9 千円	10.6	△2,437 万 2 千円	△0.8
うち普通建設事業	31 億 2,853 万 5 千円	10.5	31 億 6,345 万円	10.6	△3,491 万 5 千円	△1.1
うち災害復旧事業	1,738 万 2 千円	0.0	683 万 9 千円	0.0	1,054 万 3 千円	154.2
物件費	40 億 3,017 万 8 千円	13.5	37 億 8,235 万 5 千円	12.7	2 億 4,782 万 3 千円	6.6
補助費等	43 億 2,238 万 9 千円	14.5	42 億 3,007 万 7 千円	14.1	9,231 万 2 千円	2.2
繰出金	31 億 7,827 万 8 千円	10.6	32 億 380 万 8 千円	10.7	△2,553 万円	△0.8
その他	16 億 5,568 万 2 千円	5.5	18 億 6,755 万 6 千円	6.3	△2 億 1,187 万 4 千円	△11.3
合 計	298 億 8,000 万円	100.0	298 億 8,000 万円	100.0	—	—

◎主な増減要因

【人件費】

会計年度任用職員報酬や期末手当が減少するものの、定年退職者の増加により退職手当が増加しており、全体では増額しています。

【公債費】

新型コロナウイルス感染症の影響により、市税等の徴収猶予を行ったことに伴い借り入れた徴収猶予特例債の元金償還が終了することから減額しています。

【物件費】

はしご付消防車のオーバーホールや自治体 DX 推進事業、中核病院形成推進事業、水産基盤ストックマネジメント事業等が増加したため、増額しています。

【補助費等】

離島航路補助金や病院事業負担金、子育て世帯応援学校給食費補助金等が増加したため、増額しています。

【その他】

退職手当基金積立金や森林環境整備基金積立金、中小企業者等経営安定化緊急対策事業による貸付金が減少したため、減額しています。

(3) 特別会計の状況

区 分	令和4年度(案)	令和3年度	増 減 額	増 減 率 (%)
土地取得事業	80 万円	100 万円	△20 万円	△20.0
国民健康保険事業(事業勘定)	66 億 9,650 万円	69 億 5,500 万円	△2 億 5,850 万円	△3.7
国民健康保険事業(直診勘定)	7 億 530 万円	7 億 2,370 万円 (7 億 2,619 万 3 千円)	△1,840 万円 (△2,089 万 3 千円)	△2.5 (△2.9)
休日急患診療事業	1 億 480 万円	1 億 790 万円	△310 万円	△2.9
後期高齢者医療事業	9 億 9,200 万円	9 億 8,050 万円	1,150 万円	1.2
介護保険事業	61 億 2,440 万円	61 億 6,980 万円 (61 億 7,255 万円)	△4,540 万円 (△4,815 万円)	△0.7 (△0.8)
合 計	146 億 2,380 万円	149 億 3,790 万円 (149 億 4,314 万 3 千円)	△3 億 1,410 万円 (△3 億 1,934 万 3 千円)	△2.1 (△2.1)

◎主な増減要因

【国民健康保険事業(事業勘定)】

一人当たり保険給付費は増加傾向ですが、被保険者数の減少に伴い保険給付費総額及び事業費納付金は減額となっています。

【国民健康保険事業(直診勘定)】

大島診療所医師・看護師住宅の整備等を計上していますが、大島複合施設(診療所)の整備が完了したことから、予算規模は減額となっています。

【後期高齢者医療事業】

高齢化の進行により、県全体の保険給付費は大きく増加しています。また、保険料の所得割額等の改定に伴い、広域連合への保険料負担金が増額となっています。

【介護保険事業】

要介護(要支援)認定者数は微増するものの、高額介護サービス費および介護保険施設における負担限度額が見直されたこと等により、介護給付費は減額となっています。

(4) 企業会計の状況

区 分		令和4年度(案)	令和3年度	増 減 額	増減率 (%)
水道事業	収益的収入	10 億 9,900 万円	11 億 1,100 万円	△1,200 万円	△1.1
	収益的支出	10 億 9,900 万円	11 億 2,600 万円	△2,700 万円	△2.4
	資本的収入	6 億 4,024 万円	5 億 7,040 万 9 千円	6,983 万 1 千円	12.2
	資本的支出	9 億 9,971 万 2 千円	8 億 4,405 万 1 千円	1 億 5,566 万 1 千円	18.4
下水道事業	収益的収入	20 億 9,700 万円	21 億 600 万円	△900 万円	△0.4
	収益的支出	20 億 9,700 万円	21 億 600 万円	△900 万円	△0.4
	資本的収入	11 億 1,800 万円	13 億 7,600 万円	△2 億 5,800 万円	△18.8
	資本的支出	16 億 800 万円	18 億 7,400 万円	△2 億 6,600 万円	△14.2
病院事業	収益的収入	28 億 6,325 万 4 千円	27 億 1,192 万 4 千円	1 億 5,133 万円	5.6
	収益的支出	29 億 3,887 万 7 千円	28 億 8,266 万 5 千円	5,621 万 2 千円	2.0
	資本的収入	4 億 1,611 万 7 千円	4 億 4,876 万 8 千円	△3,265 万 1 千円	△7.3
	資本的支出	5 億 3,607 万 9 千円	5 億 6,820 万円	△3,212 万 1 千円	△5.7

○水道事業

安全・安心な水の安定供給を図るため、水道施設整備計画である「水道事業ビジョン」に基づき、耐用年数を経過した水道管等を更新し漏水の未然防止等を図るとともに、安定した事業運営に向け料金収入の確保と経費の節減に努めます。また、地震や異常気象などの災害等における備えとして、強靱かつ安全で持続可能な水道施設の構築に取り組みます。

○下水道事業

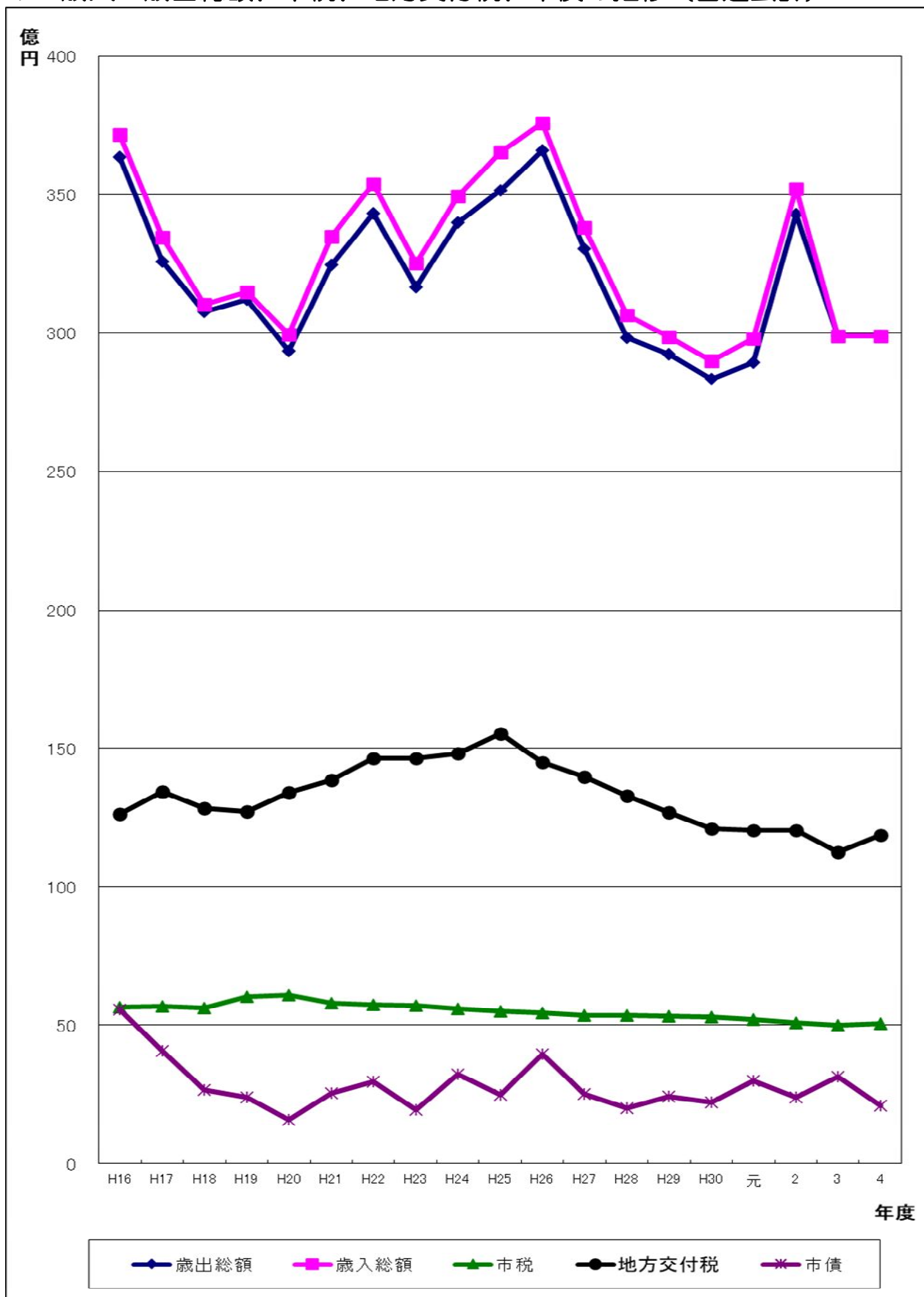
生活環境の向上と公共用水域の水質保全を図るため、水洗化の促進に努めるとともに、生活に欠くことのできないサービスとして安定的な事業運営を図るため、維持管理経費の抑制に努めます。また、引き続き未普及地域（椿東、椿及び大井地区）の整備と各処理場等の施設設備の改築・更新を計画的に実施するとともに効率的な維持管理を推進します。

○病院事業

萩医療圏の急性期医療を担うとともに、新型コロナウイルス感染症患者の受入病床の確保等、公立病院としての役割を果たし、病院機能の維持・強化、医療の質の向上に努めます。経営安定のための収入確保及び施設・設備の計画的な維持管理等による経費削減に努め、引き続き経営改善の取組を進めます。また、持続可能な医療提供体制を構築するため関係機関との連携や調整、経営形態のあり方や中核病院の形成に向けた具体的な検討協議を進めます。

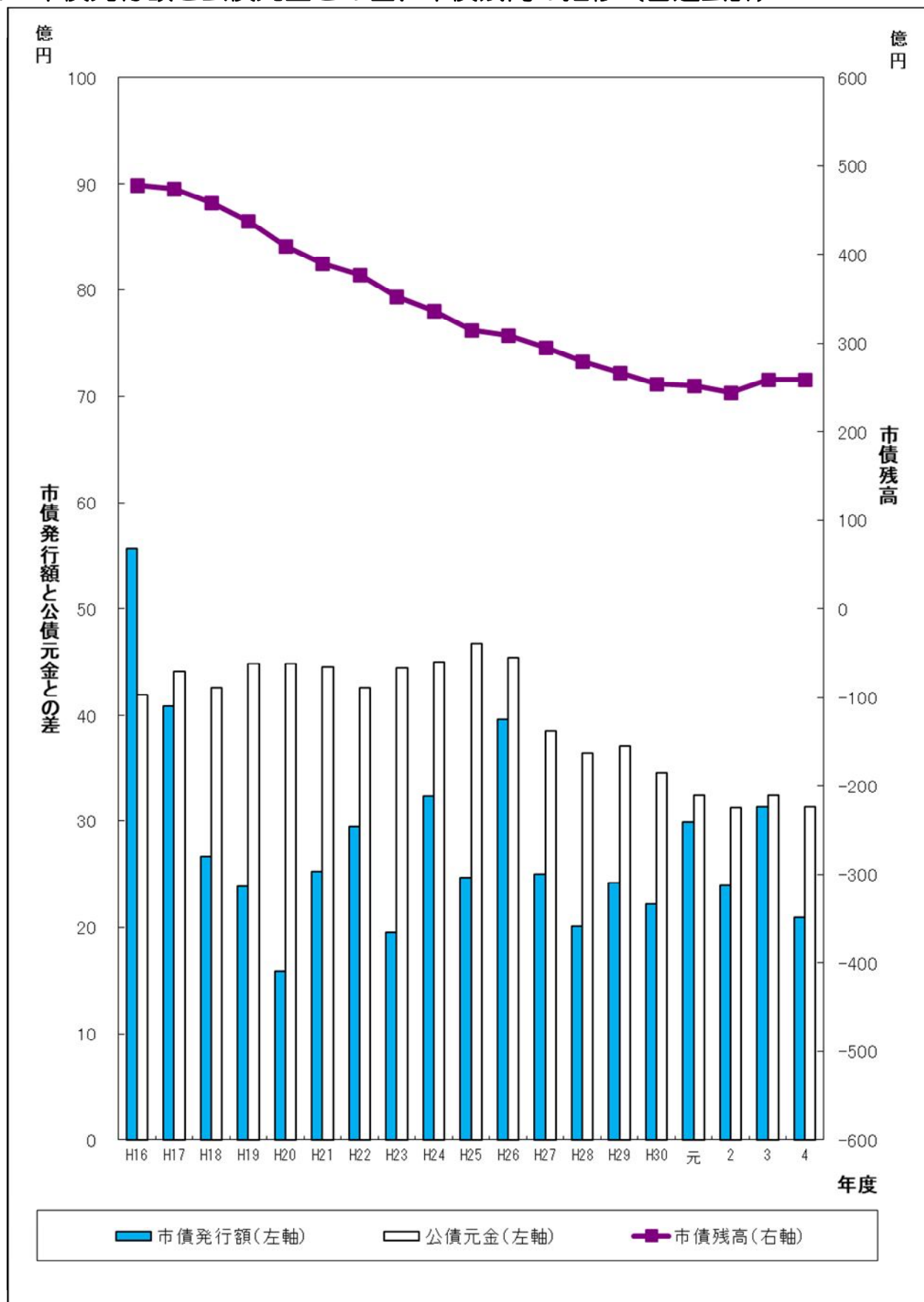
Ⅱ 萩市の財政事情

1 歳入・歳出総額、市税、地方交付税、市債の推移（普通会計）



※ 令和2年度までは決算数値、令和3・4年度は当初予算数値としています。

2 市債発行額と公債元金との差、市債残高の推移（普通会計）



3 基金及び市債残高の状況

(1) 健全な財政運営

■基金残高（一般会計・特別会計）の維持

新市発足時基金残高・・・・・・・・・・110億5,354万4千円

令和2年度末基金残高・・・・・・・・・・144億3,303万9千円

令和3年度末基金残高見込・・・・・・・・133億721万円

■市債残高（一般会計・特別会計・企業会計）の削減

区 分	平成16年度末	令和2年度末	令和3年度末見込
平成16年度末以降の市債残高減少額(累計)		△331億5,472万3千円	△321億6,534万2千円
対前年度市債増減額(単年度増減額)		△12億3,701万3千円	9億8,938万1千円
市 債 残 高	745億9,625万5千円	414億4,153万2千円	424億3,091万3千円

16年間で約332億円を削減

令和2年度から令和3年度へ約11億円の地方債を繰越しているため残高が増加

(2) 基金の状況（一般会計・特別会計）

区 分		令和2年度末	令和3年度末見込	令和4年度増減	令和4年度末見込
基 金 総 額		144 億 3,303 万 9 千円	133 億 721 万円	△20 億 3,679 万 4 千円	112 億 7,041 万 6 千円
内 訳	財政調整基金	44 億 1,171 万 8 千円	37 億 1,474 万 9 千円	△13 億 8,317 万 9 千円	23 億 3,157 万円
	減債基金	8 億 8,515 万 2 千円	5 億 8,556 万 6 千円	△2 億 9,972 万 1 千円	2 億 8,584 万 5 千円
	職員退職手当 基金	2 億 3,390 万 4 千円	4 億 2,664 万 4 千円	1 億 1,306 万 9 円	5 億 3,971 万 3 千円
	市民病院基金	9 億 3,238 万 6 千円	9 億 3,282 万 2 千円	29 万 4 千円	9 億 3,311 万 6 千円
	合併特例基金	29 億 8,337 万 3 千円	27 億 6,389 万円	△2 億 6,809 万 5 千円	24 億 9,579 万 5 千円
	あなたのふるさと 救済基金	6 億 4,544 万 1 千円	4 億 9,572 万 8 千円	△6,339 万 9 千円	4 億 3,232 万 9 千円
	その他の基金	43 億 4,106 万 5 千円	43 億 8,781 万 1 千円	△1 億 3,576 万 3 千円	42 億 5,204 万 8 千円

(単位：千円)

(3) 市債残高の状況（一般会計・特別会計・企業会計）

区 分	16年度末	25年度末	26年度末	27年度末	28年度末	29年度末	30年度末	元年度末	2年度末	3年度末 見込額	4年度末 見込額
(1) 16年度末以降の市債 残高減少額（累計）		△ 22,323,579	△ 23,699,939	△ 25,700,463	△ 27,516,732	△ 29,548,526	△ 31,295,434	△ 31,917,710	△ 33,154,723	△ 32,165,342	△ 33,442,765
(2) 対前年度市債減少額 （単年度減少額）		△ 2,672,609	△ 1,376,360	△ 2,000,524	△ 1,816,269	△ 2,031,794	△ 1,746,908	△ 622,276	△ 1,237,013	989,381	△ 1,277,423
(3) 市債残高総額	74,596,255	52,272,676	50,896,316	48,895,792	47,079,523	45,047,729	43,300,821	42,678,545	41,441,532	42,430,913	41,153,490
① 一般会計	48,020,201	31,519,353	30,944,987	29,593,837	27,966,411	26,678,193	25,447,389	25,190,053	24,456,930	25,429,340	24,385,332
② 特別会計	20,087,897	14,087,658	13,630,384	13,328,758	13,274,436	4,627,904	176,017	150,046	145,416	210,371	243,632
国民健康保険事業（直診 勘定）特別会計	265,522	316,020	270,675	225,848	252,674	213,187	176,017	150,046	145,416	210,371	243,632
介護保険事業特別会計	23,534	13,617	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住宅新築資金等貸付事 業特別会計	7,830										
簡易水道事業特別会計	2,217,222	1,455,125	1,449,663	1,543,724	1,809,862						
公共下水道事業特別会 計	10,168,767	6,888,555	6,735,725	6,522,489	6,389,212						
特定環境公共下水道事 業特別会計	712,538	334,622	304,750	284,770	263,060						
農業集落排水事業特別 会計	4,972,516	3,138,882	2,974,084	2,818,820	2,671,341	2,556,730					
漁業集落排水事業特別 会計	1,577,946	1,789,061	1,754,598	1,802,199	1,767,898	1,748,377					
林業集落排水事業特別 会計	20,332	7,746	7,344	6,934	6,517	6,093					
特定地域生活排水事業 特別会計	26,000	94,840	87,580	80,479	72,887	65,081					
個別排水事業特別会計	95,690	49,190	45,965	43,495	40,985	38,436					
③ 企業会計	6,488,157	6,665,665	6,320,945	5,973,197	5,838,676	13,741,632	17,677,415	17,338,446	16,839,186	16,791,202	16,524,526
水道事業会計	2,195,806	2,705,249	2,647,051	2,566,149	2,673,973	4,431,679	4,413,481	4,371,134	4,309,963	4,394,413	4,572,701
下水道事業会計						6,380,596	10,538,310	10,399,825	10,090,102	9,973,884	9,582,033
病院事業会計	4,292,351	3,960,416	3,673,894	3,407,048	3,164,703	2,929,357	2,725,624	2,567,487	2,439,121	2,422,905	2,369,792

4 主な財政関係指標

(1) 財政力指数（単年度）

令和3年度	令和2年度	令和元年度
0.317	0.329	0.321

※ 財政力指数とは、1年間に必要とする経費のうち、税収でどのくらいまかなっているかを示す指標です。この指数が大きいほど財政的に余裕があるとされ、この指数が1を超えると、普通交付税の不交付団体となります。

(2) 経常収支比率（決算）

令和2年度	令和元年度	平成30年度
92.1%	95.3%	94.5%

※ 経常収支比率とは、税や地方交付税等の経常的に収入される一般的な財源を、人件費、扶助費、公債費等の経常的に支出する経費にどれくらい充てているかを示す指標です。この比率が高ければ高いほど、財源的な余裕がなく、財政状況が厳しいことを示しています。

(3) 実質公債費比率（単年度）

令和2年度	令和元年度	平成30年度
5.4%	5.3%	6.5%

※ 実質公債費比率とは、収入に対する公債費等の占める割合を示す指標です。3か年の平均が18%以上の場合は、地方債の発行について国の許可が必要となります。また、財政健全化判断比率上では、この数値が25%以上で早期健全化段階となり、財政運営を行う上で国による制限がかかります。萩市の場合、平成30年度から令和2年度までの3か年平均は5.7%といずれの基準もクリアしており、健全な状態であるといえます。

(4) 将来負担比率（決算）

令和2年度	令和元年度	平成30年度
1. 8	—	—

※「—」は、将来負担額がないことを示します。

※ 将来負担比率とは、将来に渡って支払う必要があるものの総額が1年間の収入総額に対してどのくらいの割合かを示す指標で、将来の財政のひっ迫度合いを示す指標です。財政健全化判断比率上では、この数値が350%以上で早期健全化段階となり、財政運営を行う上で国による制限がかかります。萩市の場合、基準をクリアしており、健全な状態であるといえます。

(5) 義務的経費比率（一般会計）

令和4年度	令和3年度	令和2年度
45. 4%	45. 6%	47. 0%

※ 義務的経費比率とは、歳出に占める義務的経費（人件費、扶助費、公債費の合計）の割合で、比率が高ければ高いほど自由に使える予算が少ないことを示す指標です。

(6) 投資的経費比率（一般会計）

令和4年度	令和3年度	令和2年度
10. 5%	10. 6%	10. 7%

※ 投資的経費比率とは、歳出に占める投資的経費（普通建設事業費、災害復旧事業費の合計）の割合を示す指標です。

Ⅲ 各部局別予算の概要

P14～15 では、萩市基本ビジョン めざすまちづくり（基本方針）別主要事業の一覧を記載しています。

P16 以降は、各部局別の当初予算の概要です。

※令和4年2月1日時点の組織・機構で作成しています。

- ◆「予算編成の考え方」・・・各部局の令和4年度予算編成の考え方について記載しています。
- ◆「主要事業の概要」・・・各部局が周知したい事業や新規事業を中心に事業内容の説明を記載しています。

総務部	・・・・・・・・・・・・・・・・	P16
総合政策部	・・・・・・・・・・・・・・・・	P17～P22
総合事務所	・・・・・・・・・・・・・・・・	P23～P29
市民部	・・・・・・・・・・・・・・・・	P30～P31
福祉部	・・・・・・・・・・・・・・・・	P32～P36
保健部	・・・・・・・・・・・・・・・・	P37～P39
農林水産部	・・・・・・・・・・・・・・・・	P40～P45
商工観光部	・・・・・・・・・・・・・・・・	P46～P54
土木建築部	・・・・・・・・・・・・・・・・	P55～P60
教育委員会	・・・・・・・・・・・・・・・・	P61～P63
消防本部	・・・・・・・・・・・・・・・・	P64～P66

◆萩市基本ビジョン めざすまちづくり（基本方針）別主要事業

萩市の将来像やまちづくりの方向性を市民と共有し、市民と行政が一体となって進めるまちづくりの指針である萩市基本ビジョンに掲げる、めざすまちづくり（基本方針）に沿った主な事業です。

だれもが生きいきと暮らせるまちづくり

- 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金事業（360万円）・・・・・・・・（P33）
- ＜新規＞看護師確保対策事業（200万円）・・・・・・・・（P38上）
- 発熱外来・検査センター運営事業（130万8千円）・・・・・・・・（P39上）
- 中核病院形成推進事業（4,710万6千円）・・・・・・・・（P39下）
- ＜新規＞視覚障がい者等の読書環境整備事業（128万6千円）・・・・・・・・（P63下）

子育ての幸せが実感できるまちづくり

- ＜新規＞GO-ENプロジェクト推進事業（250万円）・・・・・・・・（P18上）
- 子育て世帯応援誕生祝金事業（2,000万5千円）・・・・・・・・（P34上）
- ＜新規＞多子世帯応援誕生祝金事業（5万円）・・・・・・・・（P34下）
- ＜新規＞子どもの居場所づくり支援事業（32万円）・・・・・・・・（P35上）
- ＜新規＞児童館LED照明設置事業（1,669万6千円）・・・・・・・・（P36下）
- ＜新規＞子育て世帯応援学校給食費助成事業（4,688万8千円）・・・・・・・・（P62中）

未来を担うひとを育むまちづくり

- ＜新規＞木育支援事業（499万5千円）・・・・・・・・（P44上）
- 萩グローバルIT人材確保・育成事業（400万円）・・・・・・・・（P52上）
- ＜新規＞奨学金返還支援事業（5万円）・・・・・・・・（P61下）
- ＜新規＞小中学校トイレ改修事業（2,247万4千円）・・・・・・・・（P62上）
- ＜新規＞スポーツ合宿誘致推進事業（58万6千円）・・・・・・・・（P63上）

産業活力があふれるまちづくり

- ＜新規＞次世代農業経営拡大支援事業（1,016万7千円）・・・・・・・・（P41上）
- ＜新規＞特定地域づくり事業協同組合支援事業（947万5千円）・・・・・・・・（P42上）
- ＜新規＞トマト選果機整備費補助事業（1億3,608万円）・・・・・・・・（P42中）
- ＜新規＞農業経営を支える収入保険加入支援事業（496万9千円）・・・・・・・・（P42下）
- 森・職・人づくり事業（6,058万3千円）・・・・・・・・（P43上）
- ＜新規＞森林育成支援事業（680万円）・・・・・・・・（P44中）
- ＜新規＞水産物魚価向上対策支援事業（299万4千円）・・・・・・・・（P45上）
- ＜新規＞首都圏販路拡大プロモーション事業（565万1千円）・・・・・・・・（P49上）
- ＜新規＞海外販路開拓マーケティング支援事業（364万2千円）・・・・・・・・（P49中）

- ＜新規＞中小企業等チャレンジ支援事業（4,086万4千円）・・・・・・・・（P50）
- ＜新規＞道の駅「萩・さんさん三見」リニューアル事業（228万6千円）・・（P51下）
- 再掲 萩グローバルIT人材確保・育成事業（400万円）・・・・・・・・（P52上）
- 山陰道アクセス道路整備事業（4,130万円）・・・・・・・・（P56中）

魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり

- 旧明倫小学校3・4号棟整備事業（1億5,294万4千円）・・・・・・・・（P18下）
- ジオパーク推進事業（1,288万9千円）・・・・・・・・（P22下）
- ＜新規＞むつみ昆虫王国ドーム施設改修事業（2,942万7千円）・・・・・・・・（P26下）
- ＜新規＞畳ヶ淵公衆トイレ整備事業（1,912万5千円）・・・・・・・・（P27下）
- 観光案内所整備事業（4,812万4千円）・・・・・・・・（P47中）
- ＜新規＞香雪園整備事業（860万円）・・・・・・・・（P47下）
- ＜新規＞萩阿武川温泉改修事業（7,625万7千円）・・・・・・・・（P48上）
- ＜新規＞全国椿サミット萩大会開催補助事業（250万円）・・・・・・・・（P48下）
- 史跡大板山たたら製鉄遺跡保存整備事業（1,811万6千円）・・・・・・・・（P52下）
- 浜崎伝建地区空き家等活用プロジェクト事業（2,706万円）・・・・・・・・（P53下）
- ＜新規＞萩・明倫学舎外構整備事業（1億3,978万6千円）・・・・・・・・（P54下）

生活基盤の充実した住みよいまちづくり

- ケーブルテレビ放送光ファイバー整備事業（2億8,813万3千円）・・・・・・・・（P19上）
- ＜新規＞まゐるバス本格運行導入事業（642万9千円）・・・・・・・・（P51上）
- ＜新規＞長門大井駅トイレ整備事業（1,636万5千円）・・・・・・・・（P51中）
- 住宅改修資金助成事業（700万円）・・・・・・・・（P59下）
- ＜新規＞都市計画図作成事業（1,770万円）・・・・・・・・（P60上）
- 再掲 ＜新規＞小中学校トイレ改修事業（2,247万4千円）・・・・・・・・（P62上）
- 消防指令センター共同整備事業（463万2千円）・・・・・・・・（P65上）
- 防火水槽整備事業（3,612万8千円）・・・・・・・・（P66下）

だれからも愛されるまち、求められるまちづくり

- 自治体DX推進事業（4,832万4千円）・・・・・・・・（P19下）
- ＜新規＞佐々並地区交流促進施設整備事業（3,247万7千円）・・・・・・・・（P20上）
- ＜新規＞地域住民活動チャレンジ支援事業（360万円）・・・・・・・・（P20下）
- 地域おこし協力隊設置事業（6,686万5千円）・・・・・・・・（P21上）
- 移住促進対策事業（2,683万7千円）・・・・・・・・（P21下）
- 三見駅舎活用事業（2,819万6千円）・・・・・・・・（P22上）
- ＜新規＞地域彩り交流促進事業（1,906万3千円）・・・・・・・・（P24～29）
- 再掲 ＜新規＞スポーツ合宿誘致推進事業（58万6千円）・・・・・・・・（P63上）
- ＜新規＞萩・須佐図書館LED照明設置事業（810万円）・・・・・・・・（P63中）

＜総務部予算の概要＞

◆予算編成の考え方

私たちを取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化の急速な進行とともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が市民生活や地域経済に多大な影響を与え、人々の行動や価値観などあらゆる面において、大きな変革の時を迎えています。

市政運営についても、これまでの常識や手法に捉われず、見直しを行い、時代とともに多様化する市民ニーズに柔軟に対応していく必要があります。

適正なワークライフバランスの下で、限られた財源及び人材を効率的に活用するため、事務事業の見直しと効率化、適正な人事管理及び人材育成はもとより、職員の法令・社会規範遵守をはじめ、コンプライアンス意識の向上を図ります。

市民へ市政情報を適切かつ確実に伝えるため、「広報はぎ」の発行回数を本年10月以降の偶数月は、1日号・15日号の月2回に変更するほか、ホームページやSNSなど様々な広報媒体を活用し、行政情報の発信に努めます。また、市民からの意見やニーズを市政に反映させるため、さまざまな手法や機会を通じた広聴活動を行います。

近年、異常気象による大規模な自然災害が全国で頻発しています。自然災害や国民保護等の緊急情報を配信し、市民の安心と安全を守るため、老朽化した防災行政無線の機器を更新します。また、避難所運営に必要となる食糧・飲料水など避難所用資機材の整備についても、引き続き行います。

コロナ禍において、避難所における感染拡大防止策の一つとして、引き続き、市内のホテルや旅館を高齢者等の避難所として提供します。

◆主要事業の概要

■新防災行政無線整備事業（1億5,120万円）

（担当課：防災危機管理課）

大雨、地震、津波等の自然災害やテロ、国民保護等の緊急情報を配信するため、防災行政無線を整備します。

事業期間：平成27～令和5年度

総事業費：13億7,002万8千円

事業内容：新防災行政無線ネットワークシステムの整備

田万川地域（第6期）の防災行政無線デジタル化（令和3年度～）

旭地域（第7期）の実施設計業務

〔財源内訳〕市債 1億5,110万円、一般財源 10万円

＜総合政策部予算の概要＞

◆予算編成の考え方

人口減少・少子高齢化への対応は待ったなしの状況であり、最優先に取り組まなければならない最大の課題です。

萩市基本ビジョンに掲げる目標に向け、第2期萩市総合戦略に基づく地方創生の取組を、各部局と連携して、総合的かつ効果的に推進します。

まず、本市の実情に応じた人口減少対策として、移住・定住の相談窓口機能の充実や、萩と多様に関わる方など、関係人口を増やしていくことで地域活動の活性化を図り、町を元気に面白くする取組を促進する「萩暮らし案内所」を萩・明倫学舎4号館に開設します。さらに、萩暮らしを体験するお試し暮らし住宅の整備や、他市と連携した出逢いの場の創出など、移住・定住施策を積極的に展開します。

近年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、都市部への過度な人口集中に伴うリスクが再認識されるとともに、テレワークの導入等により地方移住への関心が高まるなど、社会全体の意識や行動は大きく変わってきました。この機会を逃すことなく、将来的な萩市への移住・定住につながるよう、地域と継続的な関わりを持つきっかけとして、地域おこし協力隊制度やふるさと納税制度の活用、萩フレンド保険の運営など、関係人口の創出・拡大に取り組みます。

また、移住・定住施策の推進にあたっては、都市部との情報通信基盤の格差是正が重要となります。このため、地域資源を生かしたビジネスの展開や新たな働く場の創出、都市部との業務を可能にするとともに、生活基盤の充実した住みよいまちづくりを推進するため、光ファイバー網の整備を加速させるほか、地上デジタル放送の難視聴地域における総合情報施設（農村型CATV）の設備改修を行い、地域間の情報通信格差を是正します。

さらに、デジタル技術やデータの活用により、新たな価値を生み出し、行政・地域社会の仕組みやあり方を変革させるDX（デジタル・トランスフォーメーション）の取組を推進し、オンライン申請システム等の導入による行政サービスの利便性向上や市の業務効率化を進めます。

長引くコロナ禍にあって地域産業の振興は喫緊の課題であり、アフターコロナを見据えた取組も重要となっています。このため、地域産業振興構想を着実に推進し、萩市産品のブランド力を高めるとともに、地域の稼ぐ力の向上に取り組みます。地域内外の人材交流を促進し、産業や社会に貢献できる地域の人材力の強化に取り組むとともに、萩・明倫学舎が観光のみならず、産業振興・交流促進・人材育成の場となるよう、引き続き旧明倫小学校3号棟の整備を進めます。

また、萩ジオパークは、本年、日本ジオパークに認定されて4年が経過し、再認定審査の年を迎えます。これを契機として、更に地域住民と一体となったジオパーク活動を展開します。

◆主要事業の概要

■＜新規＞GO－ENプロジェクト推進事業（250万円）

（担当課：企画政策課）

結婚を希望する独身男女が、一人でも多く出逢いの場に恵まれるよう、長門市・美祢市と連携し、「良縁を3市で応援します」という想いを込めて、実行委員会を設置し、定住人口の増加及び若者の定着を図ります。

実施主体：GO－ENプロジェクト実行委員会

総事業費：750万円

事業内容：婚活イベントの開催
スキルアップセミナーの開催
出逢いサポートセンターの設置

〔財源内訳〕 総務費国庫補助金 166万6千円、一般財源 83万4千円

■旧明倫小学校3・4号棟整備事業（1億5,294万4千円）

（担当課：産業戦略室）

旧明倫小学校3号棟の活用を図るため、萩市観光協会・萩温泉旅館協同組合・萩市観光課の事務所、文化団体等が活用するギャラリー、市民団体等が利用する交流室等を整備します。

事業期間：令和3～4年度

総事業費：2億6,568万4千円
※3・4号棟保存整備に係る総事業費
7億6,940万1千円（令和元～3年度）

事業内容：3号棟建物活用 施工監理業務委託
内装整備、電気・機械設備工事
備品購入

〔財源内訳〕 あなたのふるさと萩応援基金繰入金 6,273万7千円
市債 8,480万円、一般財源 540万7千円

■ケーブルテレビ放送光ファイバー整備事業（2億8,813万3千円）

（担当課：情報政策課）

萩市総合情報施設が提供するケーブルテレビ放送について、地域間格差の解消及び災害に強い情報通信基盤を構築するため、川上・福栄地域のケーブルテレビの光化に取り組みます。

事業期間：令和3～5年度

総事業費：5億8,615万2千円

事業内容：福栄地域（令和4年度）

設備設計監理業務委託、光ファイバー敷設工事、放送機器整備工事
宅内引込工事等

〔財源内訳〕 総務費国庫補助金 1億4,312万1千円、市債 1億4,310万円
一般財源 191万2千円

■自治体DX推進事業（4,832万4千円）

（担当課：DX推進室）

デジタル社会の実現に向けて国が策定した「自治体DX推進計画」を踏まえ、デジタル技術の活用による行政サービスの利便性向上や市の業務効率化などの推進を図ります。

事業内容：RPA（定型業務の自動化）の拡充

オンライン申請システムの導入

電子決裁システム等の導入

テレワークシステムの導入

〔財源内訳〕 総務費国庫補助金 173万2千円、一般財源 4,659万2千円

■＜新規＞佐々並地区交流促進施設整備事業（3,247万7千円）

（担当課：地域づくり推進課）

旭地域佐々並地区の定住促進と関係人口の創出を図るため、佐々並市にある市所有の伝統的建造物を改修し、住民と地域外の人が活動を通じて交流できる施設として整備します。

事業内容：設計監理業務委託、建物改修工事、備品購入

施工場所：佐々並地区（旧阿武荻森林組合佐々並出張所）

建物面積：約 86 m²

〔財源内訳〕 総務費国庫補助金 1,514万7千円、市債 1,590万円
一般財源 143万円

■＜新規＞地域住民活動チャレンジ支援事業（360万円）

（担当課：地域づくり推進課）

明るく元気な地域を創出するため、総合事務所管内の地域振興に資する新たな住民活動を行う団体に対し、補助金を交付します。

補助額：補助対象経費の10／10（補助限度額 30万円）

補助対象者：総合事務所管内の自治会、協議会、グループ等

〔財源内訳〕 一般財源 360万円

■地域おこし協力隊設置事業（6,686万5千円）

（担当課：おいでませ、豊かな暮らし応援課）

地域おこし協力隊制度の活用により、萩市の特色をいかした「地域協力活動」を希望する都市住民が交流イベントの企画・運営や農林漁業の応援などに取り組むことを通じて、萩市への定住・定着を図ります。

令和4年度からは、地域おこし協力隊員の活動や生活面の支援を行う支援団体を募り、その団体に活動支援を委託することで隊員と活動地域との関わりを深め、任期満了後の活動地域への定住・定着を図ります。

対象者：3大都市圏をはじめとする都市地域等に住所を有し、着任後に萩市内に住民票を移すことができる方

令和元年度着任 3人（継続）

令和2年度着任 6人（継続）

令和3年度着任 6人（継続）

令和4年度着任 2人（新規）

※支援団体とは、地域おこし協力隊が円滑に活動できるように、市が地域おこし協力隊の活動支援業務を委託する市内の地域団体等

〔財源内訳〕 一般財源 6,686万5千円

■移住促進対策事業（2,683万7千円）

（担当課：おいでませ、豊かな暮らし応援課）

移住・定住の相談窓口機能の充実や、萩と多様に関わる方などとの関係人口を増やすことで、地域の活性化を図るため、令和4年4月、萩・明倫学舎4号館に「萩暮らし案内所」を開設します。

また、「萩市空き家情報バンク」による空き家の利活用を図るとともに移住希望者の相談にきめ細かく対応し、円滑な移住支援及び移住者の増加に取り組めます。

事業内容：萩暮らし応援事業等による移住者への支援
地域内外の人のマッチング、コーディネート

〔財源内訳〕 総務使用料 23万8千円、雑入 12万円、一般財源 2,647万9千円

■三見駅舎活用事業（2,819万6千円）

（担当課：おいでませ、豊かな暮らし応援課）

移住・定住の促進を図るため、JR三見駅舎を移住希望者やテレワーカー等が萩暮らしを体験するためのお試し暮らし住宅として改修します。

事業期間：令和3～4年度（令和5年1月供用開始予定）

総事業費：3,518万3千円

事業内容：設備設計業務委託、三見駅構内保安対策工事等（令和3年度）
設備監理業務委託、住宅整備工事、備品購入等（令和4年度）

〔財源内訳〕市債 2,620万円、一般財源 199万6千円

■ジオパーク推進事業（1,288万9千円）

（担当課：ジオパーク推進課）

「大地と人のつながり」をキーワードとして、地球の視点で「萩らしさ」が見える、伝わるまちを目指したジオパーク活動を展開し、深化させます。また、日本ジオパーク認定から4年が経過することから、日本ジオパーク委員会による再審査への対応を行います。

事業内容：ジオパーク活動の支援
萩ジオパーク推進協議会が実施する講座や人材養成
イベント等の諸事業
市民団体等が行うジオパーク活動に対する支援など
ジオサイトの環境保全及び拠点施設の運営
龍鱗郷、畳ヶ淵等の環境整備、笠山山頂展望台の運営
関連用地の購入及び解説板設置
日本ジオパーク再認定審査の対応

〔財源内訳〕総務費国庫補助金 148万1千円、財産貸付収入 21万6千円
合併特例基金繰入金 730万円、市債 150万円
一般財源 239万2千円

＜総合事務所予算の概要＞

◆予算編成の考え方

総合事務所管内は、人口減少と少子高齢化を背景に様々な課題を抱えており、地域の魅力化を推進する事業や課題を解消する事業に積極的に取り組んでいく必要があります。

また、これらの事業は、住民の皆様の身近にあって地域の実情を把握する総合事務所が主体となり、地域の声を反映し、計画的に取り組むことが効果的です。

こうしたことから、総合事務所ごとに「地域事業懇話会」を設置し、各地域内で選任した委員の皆様のご意見をお聴きしながら、総合事務所を中心として地域に必要な事業の立案に取り組み、立案した事業を総合事務所が主体となって計画的に推進するため、各総合事務所で事業の優先順位を付した３年間の「地域事業計画」を作成しました。

総合事務所予算は、これらの「地域事業計画」のもとで編成しました。

地域の魅力化を推進するため、全地域で花を活用し交流人口の拡大を図る「地域彩り交流促進事業」に取り組めます。

須佐地域では、萩ジオサイトの置ヶ淵等を訪れる観光客等の利便性向上を図るため、公衆トイレを整備します。

また、地域の課題を解消する事業として避難所や地域の拠点施設の利便性向上を図る施設改修や、子どもの遊び場を確保していくための遊具の更新、生活に身近な市道の改修などを実施し、６地域で合計３４事業に取り組めます。

◆主要事業の概要

《川上総合事務所》

■＜新規＞地域彩り交流促進事業（454万7千円）

萩阿武川温泉公園北側の県道法面にシバザクラを植栽し、川上農林産物直売所など温泉エリアの事業者や住民の皆さんと開花時期に併せたイベントを開催し、交流人口の拡大を図ります。

開花時期：4～5月

植栽面積：622 m²

[財源内訳] 総務費県補助金 405万7千円、雑入 12万3千円
一般財源 36万7千円

■河川維持事業（128万円）

石垣が崩れている寺の川の護岸改修を検討するに当たり、復旧工法等を調査します。

調査地区：川上地域立野地区

調査延長：100m

[財源内訳] 一般財源 128万円

《田万川総合事務所》

■＜新規＞地域彩り交流促進事業（57万6千円）

道の駅ゆとりパーク田万川と萩田万川温泉センターをつなぐ田万川沿いの市道にツツジを植栽することで、道の駅、温泉、田万川キャンプ場との周遊ルートを形成し、交流人口の拡大を図ります。

開花時期：4～5月

植栽延長：260m

〔財源内訳〕 総務費県補助金 24万8千円、雑入 8万2千円
一般財源 24万6千円

■＜新規＞道の駅「ゆとりパークたまがわ」多目的広場遊具整備事業 (550万円)

子どもの遊び場の確保と安全を図るため、道の駅ゆとりパークたまがわ多目的広場の遊具を更新します。

事業内容：コンビネーション遊具及びベンチの設置
既設木製遊具及び木製ベンチの撤去

〔財源内訳〕 市債 550万円

《むつみ総合事務所》

■＜新規＞地域彩り交流促進事業（235万6千円）

伏馬山山麓に菜の花及びひまわりを咲かせる「むつみフラワーロード」の取組を継続するとともに、萩市むつみ農産物加工販売施設 萩・むつみの恵（キッチンばぁ〜ば）、むつみ昆虫王国などと連携したイベントを開催し、交流人口の拡大を図ります。

開花時期：菜の花 3～4月
ひまわり 7～8月

植栽面積：各4ha

イベント実施日：むつみ菜の花まつり 令和4年4月10日（日）（予定）
むつみひまわりロードフェスタ 令和4年8月7日（日）（予定）

〔財源内訳〕 総務費県補助金 101万2千円、雑入 33万7千円
一般財源 100万7千円

■＜新規＞むつみ昆虫王国ドーム施設改修事業（2,942万7千円）

施設の老朽化に伴い、むつみ昆虫王国入場口のテントの更新、かぶと虫ドームのネット張替などを行います。

〔財源内訳〕 市債 2,940万円、一般財源 2万7千円

《須佐総合事務所》

■＜新規＞地域彩り交流促進事業（141万6千円）

萩ジオパークのジオサイトである畳ヶ淵入口付近に、弥富地区ゆかりのそばの花畑を整備し、秋には一面に白いじゅうたんを広げたような景観をつくるとともに、そば処「龍の里やどみ」、萩市ふれあいステーション須佐（いかマルシェ）などと連携し、交流人口の増加を図ります。

開花時期：9～10月

植栽面積：1,500㎡

〔財源内訳〕 総務費県補助金 60万8千円、雑入 20万3千円
一般財源 60万5千円

■＜新規＞畳ヶ淵公衆トイレ整備事業（1,912万5千円）

観光客等への利便性向上を図るため、萩ジオパークのジオサイトである畳ヶ淵の駐車場内に水洗トイレを整備します。

事業内容：設備設計監理業務委託
建築工事（木造平屋建て16.62㎡）
排水処理施設工事
井戸ボーリング工事
井戸ポンプ設置工事

〔財源内訳〕 市債 1,910万円、一般財源 2万5千円

《旭総合事務所》

■＜新規＞地域彩り交流促進事業（592万7千円）

道の駅あさひの佐々並川沿い法面にヒガンバナを植栽し、萩往還おもてなし茶屋等との連携により道の駅あさひと佐々並市伝統的建造物群保存地区との周遊ルートを形成し、交流人口の拡大を図ります。

開花時期：9～10月

植栽面積：350 m²

〔財源内訳〕 総務費県補助金 546万2千円、雑入 11万7千円
一般財源 34万8千円

■道路維持事業（360万円）

児童及び生徒の安全を確保するため、岩が露出している明木小学校及び旭中学校横の市道の落石防止工事を行います。

事業内容：市道牛地3号線
法面防護工事 延長 20m

〔財源内訳〕 一般財源 360万円

《福栄総合事務所》

■＜新規＞地域彩り交流促進事業（424万1千円）

道の駅ハピネスふくえ及びその周辺に花を植栽し、道の駅中央階段においてベルギーマムなどの鉢物の展示即売を行うイベントを開催するとともに、世界文化遺産大板山たたら製鉄遺跡周辺の景観整備等に取り組み、交流人口の拡大を図ります。

開花時期：10～12月

事業内容：道の駅ハピネスふくえ及びその周辺の植栽等

事業主体：地元実行委員会

イベント開催時期：令和4年11～12月（予定）

〔財源内訳〕 総務費県補助金 141万3千円、雑入 47万1千円
一般財源 235万7千円

■社会体育施設改修事業（56万4千円）

高齢者等の安全性向上を図るため、福栄グラウンドの階段に手摺を整備します。

事業内容：手摺設置工事（19段・約8m）

〔財源内訳〕 市債 50万円、一般財源 6万4千円

＜市民部予算の概要＞

◆予算編成の考え方

市民部では、市民の生活や環境に直接関わる部署として、生涯を通して健やかに、かつ、安心・安全に生活できる、持続可能なまちづくりを推進してまいります。

市民活動推進課では、地域の課題解決に大きな役割を果たすことが期待される市民活動や、地域住民が主体となり自治活動等を行うコミュニティ組織を支援するとともに、安心・安全な地域づくりのため、関係機関や団体と協力して、交通安全運動・防犯活動・暴力追放運動を推進します。また、複雑化、専門化する市民相談に対しては、引き続き、女性相談や消費生活等に関する専門の相談員を配置し、各種相談の解決に取り組みます。

市民課では、マイナンバーカードについて「デジタル社会の基盤となるもので、令和4年度末にほぼ全国民に行き渡ることを目指す」という国の方針に沿って、普及促進の取組を進めます。

国民健康保険については、萩市の課題である「特定健康診査受診率の向上」、「糖尿病性腎症重症化予防」及び「ジェネリック医薬品の使用促進」について、引き続き重点的な取組を進めます。

環境衛生課では、持続可能で快適な環境づくりを目指し、「美しいまち・萩」を未来につなげられるよう、市民・事業者・行政の連携により、萩エコ大使任命事業をはじめとする環境教育や地域清掃など環境美化の活動に取り組みます。また、廃棄物処理施設について、適切な運営・維持管理に努めるとともに施設の一元化や広域処理を検討し、将来に向けた適切なごみ処理体制を構築します。

課税課、収納課では、人口減少等により、自主財源の確保がますます重要性を増していることから、より一層、市税の課税対象の的確な把握と公平で公正な賦課徴収に努めます。特に未納対策としては、滞納整理の早期着手に努め、新たな滞納の発生を抑制します。法律に基づいた滞納処分を積極的に進め、滞納事案の早期完結及び滞納額の圧縮を図ります。

◆主要事業の概要

■＜新規＞見島燃やせるごみ搬送事業（1,625万7千円）

（担当課：環境衛生課）

見島地区の人口減によるごみ量の減少と見島ごみ焼却場の設備の老朽化及び慢性的な担い手不足等を解消するため、令和4年秋から見島地区で出される燃やせるごみを搬送し、萩・長門清掃工場「はなもゆ」で焼却処理を行います。

処理量：約120t（見込み）

〔財源内訳〕 あなたのふるさと萩応援基金繰入金 1,370万円
一般財源 255万7千円

■漂流・漂着ごみ一掃事業（1,746万5千円）

（担当課：環境衛生課）

海岸に漂着したプラスチックその他のごみについて、景観美化とともに再流出による海洋汚染を防止するため回収、処理を行います。

実施場所：萩地域 三見飯井海岸～大井佐々古浜海岸、見島海岸
須佐・田万川地域 まてかた海岸～湊海岸

処理量：約100t（見込み）

〔財源内訳〕 衛生費県補助金 1,397万2千円、一般財源 349万3千円

＜福祉部予算の概要＞

◆予算編成の考え方

福祉部では、2つの目指すまちづくり「だれもが生きいきと暮らせるまちづくり」及び「子育ての幸せが実感できるまちづくり」の実現に向けて施策を展開します。

一つ目の「だれもが生きいきと暮らせるまちづくり」を推進するため、高齢者や障がい者に配慮し、全ての市民が誇りと希望を持って暮らし続けることができるよう、医療・介護・福祉・健康が連携し充実した、個性や特性を認め合いながら互いに支え合う、自立と協働による地域社会の実現に向けた取組を進めます。

高齢化の進展に伴い、高齢者の移動手段を確保するため、路線バスの運賃や離島航路の船賃の軽減を継続して行い、利用しやすい環境の整備を図ります。

また、障がいのある人の社会参加を促進するため、相談支援体制や雇用・就業支援、福祉サービス体制の整備や障がいに対する正しい知識の啓発等により、共生社会の実現に向けた取組を進めます。

二つ目の「子育ての幸せが実感できるまちづくり」を推進するため、安心して子どもを産み、育てたいと思えるまちづくりを実現し、地域や家庭に笑顔があふれるよう、子育て環境の充実に向けた取組を進めます。

第2子以降の出生に対する誕生祝金を拡充するとともに、幼児教育・保育の無償化や対象年齢を高校生等まで拡充した医療費助成制度など、子育て世帯への経済的支援を継続して行います。

◆主要事業の概要

■新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金事業（360万円）

（担当課：福祉支援課）

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、緊急小口資金等の特例貸付が、貸付限度額に達している等の事情により、特例貸付の利用ができない生活困窮世帯に対し、支援金を支給します。

また、支援金の給付を受けた世帯で、その後も生活が困窮している世帯に再支給します。

支給対象者：緊急小口資金等の特例貸付を利用できない世帯で、次の要件を満たす世帯（再支給の要件も同じ）

【収入基準額】

①住民税均等割が非課税となる収入額の1/12

②生活保護の住宅扶助基準額

①+②の合計額以下

<例>単身世帯 ① 78,000 円+②上限額 30,000 円=108,000 円（月額）

2人世帯 ①115,000 円+②上限額 36,000 円=151,000 円（月額）

3人世帯 ①140,000 円+②上限額 39,000 円=179,000 円（月額）

【資産】世帯の預貯金の合計額が①の6倍以下（ただし100万円以下）

<例>単身世帯 468,000 円以下

2人世帯 690,000 円以下

3人世帯 840,000 円以下

【求職等】ハローワーク等で求職活動を行うこと、または生活保護の申請を行うこと

対象世帯数：12世帯

支援金の額：単身世帯 6万円（月額）

2人世帯 8万円（月額）

3人以上世帯 10万円（月額）

支援期間：3か月

〔財源内訳〕 民生費国庫補助金 360万円

■子育て世帯応援誕生祝金事業（2,000万5千円）

（担当課：子育て支援課）

次世代を担う子どもたちの誕生を祝福し、経済的支援を図り、子育てにやさしい魅力あるまちづくりを推進するため、新たに出生する子どもを持つ世帯に対し、市内共通商品券を支給します。

対象者数：200人（見込み）

支給額：10万円相当の市内共通商品券

〔財源内訳〕 あなたのふるさと応援基金繰入金 2,000万円、一般財源 5千円

■＜新規＞多子世帯応援誕生祝金事業（5万円）

（担当課：子育て支援課）

多子世帯の経済的負担を軽減し、安心して生み育てることができるよう、強力に後押しするとともに、子育て世帯の移住・定住の促進を図るため、令和4年4月1日以降に出生する第2子以降の子どもを持つ世帯に対し、祝金を給付します。

令和4年度は、チラシ等を印刷し、対象者を含め、市民等に幅広く周知を図ります。

時期 対象者	1歳に達した時 （保育園入園前）	6歳に達した時 （小学校入学前）	12歳に達した時 （中学校入学前）	総額
第2子	10万円	—	—	10万円
第3子	10万円	10万円	20万円	40万円
第4子以降	30万円	30万円	30万円	90万円

給付時期：1歳、6歳、12歳の誕生日以降

給付方法：現金

〔財源内訳〕 一般財源 5万円

■＜新規＞子どもの居場所づくり支援事業（32万円）

（担当課：子育て支援課）

食事提供（子ども食堂）、学習支援及び相談事業を行うことで、孤立や孤食を防止し、団らんを通して子どもも大人も安心して過ごすことができるよう、子どもの居場所づくりに取り組む民間団体に対して、安定的・継続的に事業を実施できるよう支援します。

事業内容：整備費支援

補助金額 1か所につき20万円（上限額）

補助率 10/10

対象経費 工事請負費、備品購入費など

活動費支援

補助金額 1か所につき年間12万円（上限3年間）

補助率 10/10

対象経費 報償費、消耗品費、食材料費など

〔財源内訳〕 一般財源 32万円

■＜新規＞保育所施設整備費補助事業（363万1千円）

（担当課：子育て支援課）

新型コロナウイルス感染症の予防及び園児の安心安全な保育環境を整えるため、施設整備を行う保育園に対して、経費の一部を支援します。

事業主体：春日保育園

整備内容：厨房の乾式化等

総事業費：4,843千円

補助金額：3,631千円

負担割合：市1/4、県1/2、事業主体1/4

〔財源内訳〕 民生費県補助金 242万円、一般財源 121万1千円

■多子世帯子育て支援金支給事業（794万4千円）

（担当課：子育て支援課）

出産・子育てがしやすい環境づくりを推進するため、第3子以降の児童を保育所等に入所させた場合、その保育料等の全額又は半額を助成し、多子世帯における経済的負担を軽減します。

対 象 者：第3子以降のすべての保育所等の入所児童

対象施設：保育所、認定こども園、事業所内保育所

軽減内容：市民税所得割額が97,000円未満の世帯 保育料・副食費の全額補助
市民税所得割額が97,000円以上の世帯 保育料の1/2 補助

〔財源内訳〕 民生費県補助金 397万2千円、一般財源 397万2千円

■＜新規＞児童館LED照明設置事業（1,669万6千円）

（担当課：子育て支援課）

児童館の照明設備をLED照明へ交換することにより、児童館の環境改善を図り、省エネルギー化するとともに、長寿命化によるメンテナンス費用を削減します。

事業内容：設備設計監理業務委託
LED照明設置工事

〔財源内訳〕 市債 1,580万円、一般財源 89万6千円

＜保健部予算の概要＞

◆予算編成の考え方

萩市基本ビジョンに掲げる「だれもが生きいきと暮らせるまちづくり」や「子育ての幸せが実感できるまちづくり」の実現に向け、医療・介護・福祉・保健等の関係機関の連携を更に深め、各種施策を進めます。

地域医療では、医師や看護師等の医療従事者の不足や高齢化が深刻な課題となっており、将来にわたり市民が地域において安心して暮らせる医療提供体制を確保するため、限られた医療資源を効率的に活用できるように、萩市民病院と都志見病院の統合による萩保健医療圏における医療連携の核となる中核病院づくりに向けた検討と協議を進めます。

あわせて、救急医療やへき地医療などの維持・確保に取り組むとともに、各地域の国保診療所についても、効率的で持続可能な運営体制の手法を検討します。

また、市内の医療機関で不足する看護師の確保を目的とした新たな取組として、働く意思のある有資格者（潜在看護師）に対して、相談から技術指導、再就職までの支援を行う体制づくりを進めます。

健康づくりでは、いつまでも健康で元気に暮らすことができるよう、節塩や健康体操などの生活習慣の改善や疾病予防をはじめ、それぞれの年齢に応じた健康づくりを推進し、健康寿命の延伸に向け継続的に取り組みます。

妊娠・出産・子育てに関しては、子育て世代包括支援センターHAGU（はぐ）を総合相談窓口とし、子育ての不安を解消し、より一層安心して子育てができる環境づくりに取り組みます。また、不妊症や不育症の治療についての助成、風しん・おたふくかぜワクチン予防接種費用の助成を継続します。

新型コロナウイルス感染症対策については、関係機関と連携し、引き続き医療提供体制の確保に取り組めます。

◆主要事業の概要

■＜新規＞看護師確保対策事業（200万円）

（担当課：地域医療推進課）

市内医療機関の看護師確保を目的に、勤務されていない有資格者（潜在看護師）で働く意思のある方に対し、相談から技術指導、研修、再就職まで包括的な支援に取り組みます。

事業内容：再就職相談窓口の設置
研修支援、就職支度金の支給

〔財源内訳〕 一般財源 200万円

■大島複合施設整備事業（診療所医師・看護師住宅）（7,166万7千円）

（担当課：地域医療推進課（国民健康保険事業（直診勘定）特別会計））

診療所の複合施設移転に伴い、既存の診療所兼医師住宅を解体し、新たに医師住宅と看護師住宅を整備し、医療従事者の住環境を確保します。

事業期間：令和元～4年度

総事業費：医師・看護師住宅 7,166万7千円
複合施設 5億6,920万7千円

構 造：医師・看護師住宅 木造2階建て
複合施設 鉄骨造2階建て

延床面積：医師・看護師住宅 160㎡
複合施設 1,057㎡

施設概要：医師・看護師住宅（旧公民館跡地）
複合施設 1階 診療所・介護予防センター
2階 公民館・出張所

事業内容：旧施設解体工事、設備設計監理業務委託、施設整備工事、備品購入費

〔財源内訳〕 医療施設整備補助金 1,438万4千円、市債 4,640万円
一般財源 1,088万3千円

■発熱外来・検査センター設置運営事業（130万8千円）

（担当課：地域医療推進課（休日急患診療事業特別会計））

新型コロナウイルス感染症対策として、発熱等の症状のある方が迅速にPCR検査を受けることができる体制を確保するため、発熱外来・検査センターを運営します。

設 置 場 所：萩市休日急患診療センター（萩市大字椿 3460 番地 3）

開 設 日 時：火曜日、金曜日（土・日、祝日を除く）、2 時間／日
※感染状況に応じて対応

検査対象者：医師の判断によりPCR検査が必要とされた患者

〔財源内訳〕 新型コロナウイルス感染症医療提供体制強化委託金 130 万 8 千円

■中核病院形成推進事業（4,710万6千円）

（担当課：中核病院形成推進室）

将来にわたり市民が安心して医療を受けられる体制の構築に向け、萩市民病院と都志見病院の統合による地域の医療連携の核となる中核病院づくりに向けた検討や準備を行います。

事業内容：中核病院づくりに向けた検討・準備

2病院統合と地方独立行政法人化に向けた人事給与や財務の制度設計
など、各種準備作業に係る支援業務委託や、法人の組織運営、定款・運営目標等に関する委員会の開催

病院施設活用調査

医療機能集約に向け、病院施設の活用に係る基本的な方向性を定める
ために必要な比較分析や周辺環境調査等の業務委託

〔財源内訳〕 一般財源 4,710 万 6 千円

＜農林水産部予算の概要＞

◆予算編成の考え方

農林水産業は、過疎化、高齢化等による担い手の減少や異常気象、コロナ禍等による不安定な市場価格など非常に厳しい状況にあります。農林水産業を魅力ある産業として持続可能なものとするため、担い手の確保・育成に重点を置くとともに、新たな産業振興施策により生産振興、販路拡大、生産基盤整備等に積極的に取り組みます。

農業分野においては、引き続き「儲かる農業」を推進するため、経営ステップアップのための規模拡大や付加価値向上の取組を支援し、経営体モデルの確立と新規就農者等への波及に努めます。

あわせて、担い手確保・繁忙期の人材確保のため、地域内外からの定住を図る仕組みづくりに取り組みます。

林業分野においては、市域の8割を占める豊かな森林資源を循環的に活用することによる、「次世代まで幸せになる林業」を目指し、森林団地の形成と主伐・再造林一貫作業の推進、林業への就業と人材育成を促進するとともに、市民が地域産木材を身近に感じる機会を創出し、森づくりからまちづくりまで一貫した取組を進めます。

水産業分野においては、魚価の向上・消費の拡大を図るため、引き続き萩の魚の認知度及びブランド力向上の取組を推進するとともに、資源管理や栽培漁業の推進、新規漁業就業者の確保・育成・定着に向けた取組を関係機関等と連携して進めます。

また、漁業活動の拠点となる漁港施設の計画的な整備を進め経営基盤の強化を図るとともに、海岸保全に取り組み、安心安全な漁村づくりに努めます。

◆主要事業の概要

■＜新規＞次世代農業経営拡大支援事業（1,016万7千円）

（担当課：農政課）

地域農業の担い手となる個人経営体等が、農地集積や規模拡大によって経営発展を目指す取組に必要な機械・施設の導入経費等を支援します。

事業内容：次世代農業経営拡大支援事業補助金（耕種農家）

次世代畜産経営拡大支援事業補助金（畜産農家）

機械・施設等整備支援

補助額：補助対象経費の1／3以内（補助限度額333万3千円）

〔財源内訳〕 合併特例基金繰入金 1,010万円、一般財源 6万7千円

■儲かる農業経営体モデル確立支援事業（850万円）

（担当課：農政課）

生産性や付加価値の向上など、意欲ある経営体の新たな取組を支援することにより、収益性の高い経営モデルを確立します。また、取組成果を他の経営体に波及させることにより「儲かる農業」を実現します。

事業内容：農業用機械・施設等整備支援（ハード整備支援）

認定農業者等

補助額：補助対象経費の1／3以内（補助限度額100万円）

認定新規就農者

補助額：補助対象経費の1／2以内（補助限度額150万円）

販売促進等チャレンジ支援（ソフト事業支援）

補助対象：商品開発、販路拡大、新品種・栽培技術導入経費等

補助額：補助対象経費の1／2以内（補助限度額50万円）

〔財源内訳〕 合併特例基金繰入金 850万円

■＜新規＞特定地域づくり事業協同組合支援事業（947万5千円）

（担当課：農政課）

担い手や後継者が不足している農林水産業や観光業等の事業者に対し、労働者を派遣することを目的とした、事業協同組合の設立及び運営に必要な経費を支援します。

〔財源内訳〕 農林水産業費国庫補助金 338万7千円、一般財源 608万8千円

■＜新規＞トマト選果機整備費補助事業（1億3,608万円）

（担当課：農政課）

山口あぶトマトの産地の維持・拡大を図るため、老朽化している選果機の更新に係る経費の一部を支援します。

事業主体：山口県農業協同組合

総事業費：2億2,680万円（税抜き）

負担割合：萩市 1／10、国 1／2、事業主体 4／10

〔財源内訳〕 農林水産業費国庫補助金 1億1,340万円、市債 2,260万円
一般財源 8万円

■＜新規＞農業経営を支える収入保険加入支援事業（496万9千円）

（担当課：農政課）

災害や異常気象、病虫害等による農業経営のリスクに対応するための収入保険への加入を促進し、農業経営の安定を図るため、保険加入者に対して、保険料の一部を支援します。

対象者：保険加入者 ※新規加入、継続加入のどちらも対象（1回限り）

補助額：掛け捨て部分の保険料の1／2

〔財源内訳〕 合併特例基金繰入金 490万円、一般財源 6万9千円

■森・職・人づくり事業（6,058万3千円）

（担当課：林政課）

森林所有者の意向を踏まえた森林団地の形成及び団地内の森林整備を推進するため、林業経営体が実施する森林整備や林業従事者確保対策等を支援します。

事業内容：森林所有者意向調査業務委託
森林団地形成に向けた森林所有者への意向調査

森・職・人づくり支援事業補助
森林団地内の森林整備、作業道設置費の補助（補助率10/10）
林業用機械の購入・リース費の補助（補助率1/3～1/2）
経営改善経費の補助（補助率1/2）
雇用促進費の補助（補助率1/2）
研修費の補助（5千円以内/日）

〔財源内訳〕 森林環境整備基金繰入金 696万1千円
一般財源（森林環境譲与税） 5,362万2千円

■森と暮らしのつながり創造事業（612万3千円）

（担当課：林政課）

地域産木材の利用拡大や普及啓発を図るため、人材育成や地域事業者との連携強化、住宅建築等に係る支援を行います。

事業内容：森と暮らしのつながり創造業務委託
学校と連携した林業体験プログラムの企画・実施
市内流通拡大につなげる関係者間の意見交換会や勉強会の実施

地域産木材活用促進事業補助
住宅建築等における地域産木材の利用拡大のため使用量に応じた補助
地域産木材を使用する施主 3万5千円/㎡（上限70万円/棟）
地域産木材を使用しPR活動をする工務店 5万円/棟

〔財源内訳〕 一般財源（森林環境譲与税） 612万3千円

■＜新規＞木育支援事業（499万5千円）

（担当課：林政課）

市内小学校教育や保育園・幼稚園児が日常的に地域の森林や木材に触れ親しむ機会を創出し、子ども達の豊かな心を育むとともに森や木に対する関心を高めます。

〔財源内訳〕 一般財源（森林環境譲与税） 499万5千円

■＜新規＞森林育成支援事業（680万円）

（担当課：林政課）

利用期を迎えた人工林の増加を背景に、間伐等の着実な実施や、効率的・効果的な施策が期待できるコンテナ苗の活用を支援することにより、適正な森林経営管理を推進します。

事業内容：＜継続＞民有林造林事業補助

森林所有者や受託事業者に対し、間伐や作業路開設経費の補助

補助額：間伐1.2～5.4／10（国県補助金との合計9／10以内）

作業路開設300円／m又は1,000円／m

＜新規＞造林支援事業補助

森林所有者や受託事業者に対し、コンテナ苗による再造林経費の補助

補助額：1.2～5.4／10（国県補助金との合計9／10以内）

＜新規＞地域産苗木生産促進事業補助

苗木生産者に対し、コンテナ苗の生産に必要な資材費の補助

補助額：補助対象経費の1／2

〔財源内訳〕 一般財源（森林環境譲与税） 600万円、一般財源 80万円

■＜新規＞林道橋長寿命化対策事業（839万5千円）

（担当課：林政課）

林道橋の長寿命化を図るため、予防保全に向けた補修を計画的に実施します。

【林道福萩線 小鶴橋】

事業期間：令和4～5年度

総事業費：2,827万5千円

事業内容：実施設計業務委託

〔財源内訳〕 農林水産業費県補助金 503万7千円、市債 330万円
一般財源 5万8千円

■＜新規＞水産物魚価向上対策支援事業（299万4千円）

（担当課：水産課）

モデル地区の漁業者に対して外部専門家を派遣し、活魚の取り扱い方法の確立や販売戦略の策定などの取組に対する支援を行い、魚価の向上・高値安定及び販路拡大に取り組めます。

〔財源内訳〕 雑入 199万6千円、一般財源 99万8千円

■水産基盤ストックマネジメント事業（1億1,080万2千円）

（担当課：水産課）

漁港施設の老朽化が進行し、改良・更新すべき時期を迎えた施設について、今後も漁業活動に必要不可欠な施設の機能を継続的に発揮するため、効果的・効率的な維持管理・更新等により施設の長寿命化や更新コストの縮減を図ります。

事業内容：玉江漁港機能保全工事（導流堤補修）
大島漁港機能保全工事（道路補修、物揚場補修）
三見漁港機能保全工事（港内浚渫、物揚場補修）
大島漁港外郭施設機能保全計画策定

〔財源内訳〕 農林水産業費県補助金 6,539万円、市債 2,920万円
一般財源 1,621万2千円

＜商工観光部予算の概要＞

◆予算編成の考え方

新型コロナウイルス感染症の長期化により、萩市の地域経済を支えている中小企業や小規模事業者の事業活動にも大きな影響が出るなど、厳しい状況が続いています。

こうした中、アフターコロナやウィズコロナを見据えた中小事業者等における経済活動の回復及び活性化に向けた取組を推進するとともに、生産性の向上に向けたデジタル化の推進や商工会議所等への事業者支援機能の強化など事業者支援の充実を図ります。また、事業承継や新たな起業・創業への支援、さらに、近年高まりつつある移住者に対する支援を行うことで、移住就業・創業を促進します。

近年、中山間地域の道の駅等においては、買い物支援機能が求められていることから、市民の方も利用する生活支援や地域活性化の拠点となるよう取組を進めます。

また、「市民の暮らしを支える利用しやすい交通ネットワーク」の実現に向けて、萩循環まあるバスの新ルートによる本格運行や、地域巡回ぐるっとバスのデマンド化など、自宅から目的地まで移動ができるように地域コミュニティ交通の推進に取り組みます。

企業誘致に関しては、新たな時代に対応した若者の就業の場として、ＩＴ企業などのサテライトオフィスの誘致を促進するとともに、ＩＴ企業や行政、教育機関、経済団体等で構成する「萩グローバルＩＴ人材育成協議会」を中心として、ＩＴ人材の育成・確保への取組を進めます。

観光面では、萩・明倫学舎が開館５周年を迎えるとともに、新たに３号館・４号館が開館します。３号館に萩市観光協会や萩温泉旅館協同組合、萩市観光課などを集約し、観光の起点としての機能強化を図るとともに、産業振興、人材育成、交流促進による賑わいの創出を図ります。更には、藤田伝三郎没後１１０年や新橋～横浜間鉄道開業１５０年などの周年事業を総合的に展開し、行政、観光事業者、地域が一体となり、切れ目のない観光キャンペーンを展開します。

一方で、多様化する観光ニーズや新たな生活様式に対応するため、歴史や文化、食、自然など、萩ならではの豊富な観光資源を活用した魅力ある観光プログラムの充実を図るとともに、安心安全な滞在型観光の仕組みづくりを推進します。

また、萩観光の基盤となる萩まちじゅう博物館構想のもと「萩の“おたから”を活かした協働によるまちづくり・観光地づくり」を進めるため、萩市の多様な文化財を総合的に把握し、保存と活用を進めるための計画策定に着手します。構想の拠点ともなる萩博物館では、萩の自然、歴史、文化をテーマとした展覧会や地域をテーマにした小展示を展開し、地域・学校などと連携した活動に取り組みます。

加えて、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である、萩市の５資産の確実な保存と理解増進等に取り組むとともに、文化財やまちなみの持続可能な保存と新たな活用に向けた新しい仕組みづくりに取り組みます。

◆主要事業の概要

■＜新規＞観光資源活用支援事業（500万円）

（担当課：観光課）

観光振興を目的としたふるさと納税を活用し、萩城下町においてプロジェクションマッピングを行うなど、萩特有の観光資源を活用したイベントを強化させ、宿泊者の増加や来訪者の満足度向上を図ります。

〔財源内訳〕 あなたのふるさと萩応援基金繰入金 500万円

■観光案内所整備事業（4,812万4千円）

（担当課：観光課）

観光客等の利便性向上を図るため、萩・明倫学舎駐車場バス停付近に、バス待合機能を有する観光案内所を整備します。

事業期間：令和3～4年度

総事業費：4,905万9千円

事業内容：設備工事監理業務委託
整備工事（木造平屋建て86.95㎡）
施設用器具購入

〔財源内訳〕 商工費国庫補助金 2,404万1千円、市債 2,330万円
一般財源 78万3千円

■＜新規＞香雪園整備事業（860万円）

（担当課：観光課）

萩市出身で明治期に大阪財界で活躍した実業家の藤田伝三郎の没後110年の節目の年に、ゆかりの地である「香雪園」を整備し、市民・観光客の憩いの場を提供します。

事業内容：緑地整備工事（藤棚設置・植栽など）
施設用器具購入（休憩用ベンチ）

〔財源内訳〕 総務費寄附金 100万円、市債 560万円、一般財源 200万円

■＜新規＞萩阿武川温泉改修事業（7,625万7千円）

（担当課：観光課）

萩阿武川温泉ふれあい会館は、平成5年の開業から28年が経過しており、施設の老朽化等により利用者が減少傾向にあるため、施設のリニューアルを行うことで、利用客の増加を図るとともに、温泉周辺の賑わいの創出を図ります。

事業内容：設備設計業務委託、改修工事
施設用器具購入

〔財源内訳〕 市債 7,230万円、一般財源 395万7千円

■笠山椿群生林再生保全事業（189万4千円）

（担当課：観光課）

市指定天然記念物「椿群生林」のヤブツバキに樹勢衰退などが見られることから、現地での再生試験等の状況を踏まえたうえで、検討委員会を開催し、学識経験者などの意見を聞きながら、引き続き、椿群生林の再生・保全に取り組みます。

事業期間：令和2～4年度

総事業費：444万3千円

事業内容：検討委員会の開催、再生試験整備、報告書作成

〔財源内訳〕 商工費県補助金 83万7千円、雑入 27万9千円
一般財源 77万8千円

■＜新規＞全国椿サミット萩大会開催補助事業（250万円）

（担当課：観光課）

ツバキやサザンカを花木に指定している自治体の関係者や日本ツバキ協会会員が集う全国椿サミットを開催し、ツバキやサザンカをテーマにした自治体間交流や地域おこしの事例発表と情報提供を行い、地域の活性化を促進します。

開催日：令和5年3月（予定）

〔財源内訳〕 一般財源 250万円

■＜新規＞首都圏販路拡大プロモーション事業（565万1千円）

（担当課：商工振興課）

ウィズコロナ・アフターコロナに向け、首都圏において萩焼をはじめとした特産品の情報発信やプロモーションを行うことにより、萩市の特産品のイメージアップと新たな販路の開拓を推進し、萩市のブランドや産業の活性化を図ります。

〔財源内訳〕 一般財源 565万1千円

■＜新規＞海外販路開拓マーケティング支援事業（364万2千円）

（担当課：商工振興課）

ウィズコロナ・アフターコロナに向け、萩市の特産品等を、中国で最も普及しているSNSであるWeChat^{ウィーチャット}（メッセージングアプリ）内のプログラムによる越境ECを活用して、海外販路開拓による新たな市場開拓と萩市の認知向上を図るためのテストマーケティングを実施します。

〔財源内訳〕 一般財源 364万2千円

■＜拡充＞移住就業・創業チャレンジ支援事業（580万円）

（担当課：商工振興課）

コロナ禍において、都会から地方への移住の機運が高まる中、東京圏から萩市へ移住就業・創業する方の移住に要する経費の一部を補助するとともに、国の支援の対象外となる東京圏以外からの移住就業・創業をする方についても支援を行い、萩市への移住就業・創業を促進します。

事業内容：移住支援事業（東京圏）

補助額 補助対象経費×2/3

【創業】単身（上限60万円） 世帯（上限100万円）

【就業】単身（上限60万円） 世帯（上限100万円）

＜新規＞移住就業支援事業（東京圏以外）

補助額 単身 15万円 世帯 30万円

移住創業支援事業（東京圏以外）

補助額 補助対象経費×1/3（上限50万円）

〔財源内訳〕 商工費国庫補助金 95万円、商工費県補助金 290万7千円
一般財源 194万3千円

■＜新規＞中小企業等チャレンジ支援事業（4,086万4千円）

（担当課：商工振興課）

ウィズコロナ・アフターコロナに向け経済再生を図るため、市内事業者等の事業拡大の取組やデジタル化、起業・創業、事業承継などに必要となる経費の一部を支援します。また、事業者が抱える諸課題に対応するため、持続的成長発展や創業・経営改革など中小企業等への支援の充実を図ります。

事業内容：

①＜拡充＞中小企業等事業拡大支援事業

地元の経済を支える中小企業等の事業拡大等へのチャレンジを支援することで、事業の持続化や成長促進を図るとともに、「ウィズコロナ・アフターコロナ」における「デジタル化の促進」を図る取組に対して支援を行います。

○販路拡大、広告宣伝・PR、新商品開発、人材確保、空き店舗等への出店などに必要となる経費を支援

○生産性向上等のためのITツールの導入やECサイトの構築など、デジタル化の促進に必要となる経費を支援

②＜新規＞起業・創業支援事業

自己資金が無いなどの理由で融資を必要とし、萩市の起業化支援対策資金融資を受けて起業・創業する事業者の設備整備資金の一部を支援します。

③＜拡充＞事業承継・事業引継ぎ支援事業

承継者が不在の事業者の事業承継を支援するとともに、事業承継に係る機運の醸成を図るため、事業承継等に必要となる経費を支援します。

なお、事業承継には一定の期間を要することから、承継者向け補助については、債務負担行為（5,000千円）を設定し、後年度に必要となる経費についても継続的な支援を行います。

○先代事業者向け補助

経営分析・コンサルティングや事業承継計画の作成、企業価値評価などに係る委託料、M&A仲介・マッチング登録等手数料など、先代事業者が事業を譲り渡すために必要となる経費

○承継者向け補助

建物の改修工事や備品購入、知的財産権等の取得に要する費用やマーケティング調査費など、承継者が事業を引き継ぎ、開始するために必要となる経費

④＜新規＞中小企業者等伴走型持続的成長発展・創業支援事業

萩商工会議所の新たな相談体制として、持続的成長発展事業（マーケティング事業等）や創業・経営革新支援事業等を一体的に実施する事業を支援し、市内中小企業者や新たな起業家等への支援体制の充実を図ります。

〔財源内訳〕 商工費国庫補助金 1,875万円、一般財源 2,211万4千円

■＜新規＞まぁーるバス本格運行導入事業（642万9千円）

（担当課：商工振興課）

まぁーるバスの運行ルートについては、これまで市民等の意見や地域意見交換会での要望などを踏まえ、令和2年度に運行ルートの見直し案を作成し、令和3年度に実証運行と検証を実施しました。令和4年度は、見直した新たなルートで運行するため、各バス停留所の時刻表の変更等を行います。

事業内容：新時刻表印刷製本
まぁーるバス本格運行業務委託
バス停標識時刻表等変更、音声案内等変更

〔財源内訳〕 一般財源 642万9千円

■＜新規＞長門大井駅トイレ整備事業（1,636万5千円）

（担当課：商工振興課）

大井地区の下水道整備に伴い、交通拠点となる長門大井駅に公衆トイレを整備します。

事業内容：設備設計監理業務委託
トイレ整備工事（木造平屋建て 20.79㎡）

〔財源内訳〕 市債 1,550万円、一般財源 86万5千円

■＜新規＞道の駅「萩・さんさん三見」リニューアル事業（228万6千円）

（担当課：商工振興課）

道の駅「萩・さんさん三見」の機能強化と施設の効果的な運営を図るため、施設の増改築工事を行います。

事業期間：令和4～5年度
事業内容：構造設計・設備設計業務委託（令和4年度）
増改築工事（令和5年度）

〔財源内訳〕 市債 220万円、一般財源 8万6千円

■萩グローバルＩＴ人材確保・育成事業（400万円）

（担当課：企業誘致推進課）

ＩＴ関連企業のサテライトオフィス誘致に伴い、必要とされる人材確保を図るとともに、ＩＴ関連企業への就業を目指す高校生等に対し、就業に必要な学習カリキュラムの提供や学習環境を整備します。

また、ＩＴ関連企業や行政、教育機関、経済団体等で構成する協議会を開催します。

事業内容：協議会の開催、学習機会の提供
人材確保及びサテライトオフィス誘致に係る市内外への情報発信

〔財源内訳〕 商工費国庫補助金 200万円、一般財源 200万円

■史跡大板山たたら製鉄遺跡保存整備事業（1,811万6千円）

（担当課：文化財保護課）

世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である史跡大板山たたら製鉄遺跡は、萩藩が木造洋式軍艦の建造にあたり、必要となった船釘などの原料鉄を供給した日本古来の製鉄技法「たたら製鉄」の遺跡です。

平成28・29年度に策定した「世界文化遺産修復・公開活用計画」に基づき、遺構等の確実な保全と史跡の理解増進を図る整備を進めていきます。

令和4年度は、史跡大板山たたら製鉄遺跡整備基本設計に基づき、年々深刻化する史跡内での獣による掘削被害に対処するため、獣害防止柵の整備を行います。

事業期間：令和4～11年度（予定）

事業内容：整備委員会の開催
獣害防止柵設置に係る設計業務委託、設置工事

〔財源内訳〕 教育費国庫補助金 905万8千円、一般財源 905万8千円

■＜新規＞萩市文化財保存活用地域計画策定事業（428万6千円）

（担当課：文化財保護課）

地域の歴史や文化財を総合的・一体的に保存・活用することにより、地域の特徴をいかした地域振興及び確実な文化財の継承等につなげるため、住民、民間団体、有識者などで構成する協議会を設置し、萩市文化財保存活用地域計画を策定します。

事業期間：令和4～5年度（予定）

〔財源内訳〕 教育費国庫補助金 214万3千円、一般財源 214万3千円

■浜崎伝建地区空き家等活用プロジェクト事業（2,706万円）

（担当課：文化財保護課）

萩市が抱える「まちなみ保全」「空き家活用」「移住定住」の課題を解決し、今後の伝建地区におけるまちなみの保存と活用に向けたモデルとなる事業として、令和2年度に策定した「遊休不動産活用によるまちづくり将来ビジョン」及び令和3年度に実施したサウディング調査を踏まえ、令和4年度は、引き続き、寄附を受けた伝統的建造物の改修を行うとともに、令和5年度からの供用開始に向け、活用の仕組みづくりを行います。

事業期間：令和2～4年度

総事業費：6,706万円

事業内容：保存整備工事、設備工事、設計監理業務委託

施工場所：浜崎地区（旧松屋生花店）

物件概要：土地 約 357 m²・建物 約 161 m²

〔財源内訳〕 教育費国庫補助金 1,353万円、一般財源 1,353万円

■萩博物館特別展等開催事業（2,203万8千円）

（担当課：萩博物館）

令和4年度は特別展を2回、企画展を2回開催します。博物館への集客はもちろん、市内各所への誘客を目指した展示・関連イベントを展開します。

事業内容：特別展「めざせ！貝のトレジャー王国」

開催期間 令和4年7月9日（土）～9月19日（月・祝）

特別展「江戸時代の地図 古地図で探ろう、ふる里や国の姿・形」

開催期間 令和4年10月1日（土）～12月11日（日）

企画展「ヒストリカル・スターズ」

開催期間 令和4年12月24日（土）～令和5年3月5日（日）

企画展「古写真で見る幕末明治 海外渡航者編」

開催期間 令和5年3月18日（土）～6月18日（日）

〔財源内訳〕 一般財源 2,203万8千円

■＜新規＞萩・明倫学舎外構整備事業（1億3,978万6千円）

（担当課：萩・明倫学舎推進課）

旧萩藩校明倫館遺構の周遊促進、来館者へのおもてなしの向上のため、排水路及び舗装等の環境整備を行います。

事業内容：測量設計業務委託、外構舗装工事、排水路整備工事

整備面積：7,600 m²

〔財源内訳〕 総務費国庫補助金 6,988万3千円、市債 6,630万円
一般財源 360万3千円

＜土木建築部予算の概要＞

◆予算編成の考え方

土木建築部では、萩市基本ビジョンに掲げる「生活基盤の充実した住みよいまちづくり」に向けた取組を進めます。

産業・観光振興など地域経済の発展に大きく寄与する「山陰道（益田～萩間）」と「地域高規格道路小郡萩道路」の早期整備に向けた要望活動や山陰道「大井・萩道路」の萩東IC（仮）からのアクセス道路の整備、また地域間の交流を促進する幹線道路の整備に取り組みます。また、道路については、維持を含む道路インフラの中長期的計画により安全・安心な対策に取り組みます。河川については、河川浚渫や護岸改修を地域の実情に応じて計画的に実施することにより、近年多発する災害の未然防止や減災に努めます。

地籍調査については、災害復旧の迅速化や社会資本整備の円滑な事業促進に寄与するとともに、市民の大切な財産を永続的に保全し、次の世代へ正確な地籍情報を提供するためにも着実に推進します。

市営住宅については、地域の特性に応じた安心して暮らせる住環境を提供するため、計画的に長寿命化を図る改修を行うとともに、適正な維持管理に努めます。

空き家等対策については、所有者等への適正な管理及び活用を促進するとともに、老朽化した空き家には除却に対する支援を行うなど、住みよい生活環境の保全と安全・安心なまちづくりを推進します。

耐震対策については、地震による建築物等の倒壊による被害を未然に防止し、市民の生命及び財産を保護するため、木造住宅の耐震化や通学路等に面する民間所有の既存ブロック塀等の除却に対して支援します。

都市基盤の整備については、都市づくりの基軸となるマスタープランを改訂するなど、目まぐるしく変化するまちづくりの潮流を見据えた持続可能で将来に亘り安全・安心な都市基盤の形成に努めます。

また、市全域を対象とした良好な景観形成については、萩市の貴重な歴史的、自然的景観の保全と賑わいの創出を両輪とした景観形成を推進するため、景観計画や屋外広告物等関係条例に基づく指導を実施します。

◆主要事業の概要

■トンネル補修事業（330 万円）

（担当課：土木課）

交通の安全を確保するため、トンネル長寿命化修繕計画に基づき、計画的に補修します。

【高ノ須トンネル】福栄地域

事業期間：令和2～5年度

総事業費：5,748 万円

事業内容：補修工事 延長 522m

〔財源内訳〕 土木費国庫補助金 197 万 8 千円、市債 130 万円

一般財源 2 万 2 千円

■山陰道アクセス道路整備事業（4,130 万円）

（担当課：土木課）

山陰道「大井・萩道路」の萩東インターチェンジ（仮）から中心市街地や観光地への利便性の向上を図るため、アクセス道路を整備します。

事業期間：令和3年度～

総事業費：24 億 2,645 万 3 千円

全体計画：延長 1,210m 道幅 15.0m

事業内容：測量調査業務委託

〔財源内訳〕 土木費国庫補助金 2,250 万 8 千円、市債 1,870 万円

一般財源 9 万 2 千円

■老萩線道路整備事業（3,700 万円）

（担当課：土木課）

国が実施している国道191号平安古地区交差点改良事業に伴い、交差点部の安全かつ円滑な道路交通を確保するための改良を行います。

事業期間：平成29～令和4年度

総事業費：8,253 万 3 千円

全体計画：延長 130m

〔財源内訳〕 市債 3,700 万円

■羽賀線道路整備事業（3,000 万円）

（担当課：土木課）

国道191号（越ヶ浜～大井）における越波や交通事故等による交通規制が発生した際の緊急的な迂回路として、また、地域間（大井羽賀～福栄吉田）の交流促進と利便性の向上を図るため、市道を整備します。

事業期間：平成17～令和7年度
総事業費：5億3,915万4千円
全体計画：延長1,600m 道幅5.0～6.5m
事業内容：道路改良工事 延長100m

〔財源内訳〕 土木費国庫補助金 1,635万円、市債 1,360万円、一般財源 5万円

■神畑線道路整備事業（2,806万4千円）

（担当課：土木課）

見島地区住民や観光客の利便性の向上を図るため、見島宇津地区と観光スポットの北灯台にアクセスする市道を拡幅します。

事業期間：平成28年度～
総事業費：2億9,017万5千円
全体計画：延長1,000m 道幅4.0m
事業内容：道路改良工事 延長110m

〔財源内訳〕 市債 2,800万円、一般財源 6万4千円

■橋りょう補修事業（1 億 1,037 万 1 千円）

（担当課：土木課）

交通の安全を確保するため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的に補修します。

【雁島橋】萩地域

事業期間：平成30～令和7年度

総事業費：2 億 4,191 万 7 千円

全体計画：延長 150m

事業内容：橋りょう補修工事 延長 60m

【浮島橋】萩地域

事業期間：令和元～4 年度

総事業費：5,004 万 3 千円

全体計画：延長 16.2m

事業内容：橋りょう補修工事 延長 16.2m

【赤坂橋】萩地域

事業期間：令和2～5 年度

総事業費：8,810 万円

全体計画：延長 8.2m

事業内容：橋りょう補修工事 延長 8.2m

【松本大橋歩道橋】萩地域

事業期間：令和2～4 年度

総事業費：7,960 万 2 千円

全体計画：延長 65.8m

事業内容：橋りょう補修工事 延長 65.8m

[財源内訳] 土木費国庫補助金 6,486 万 5 千円、市債 4,330 万円
一般財源 220 万 6 千円

■老朽危険空き家対策事業（1,047万8千円）

（担当課：建築課）

所有者等への適正な管理及び活用を促進するとともに、老朽化した空き家の除却に対する支援を行うなど、住み良い生活環境の保全と安全安心なまちづくりを推進します。

事業内容：老朽危険空き家の所有者等への助言及び指導

老朽危険空き家の所有者等の調査

老朽危険空き家除却促進事業補助金

老朽化して危険な空き家の除却を推進するため、市内の建設業者等を利用して解体工事等を行う場合に、必要な経費の一部を支援します。

補助率 補助対象経費の2／3以内

上限額 100万円

〔財源内訳〕 土木費負担金 30万円、土木費国庫補助金 508万7千円

一般財源 509万1千円

■住宅改修資金助成事業（700万円）

（担当課：建築課）

市内の施工業者を利用して、住宅のリフォームを行う場合にその経費の一部を支援することで、地場産業の活性化及び空き家の有効活用を図ります。

事業内容：工事費が10万円以上の場合、経費の10%を補助（上限額10万円）

※子育て世帯、三世帯同居・近居又は空き家を取得しリフォームを行う場合、補助率は最大30%まで引き上げ（上限額50万円）

〔財源内訳〕 一般財源 700万円

■＜新規＞都市計画図作成事業（1,770万円）

（担当課：都市計画課）

平成 21 年度に作成した都市計画図等について、その後の宅地開発や道路整備等により現況と異なることから更新します。

対象区域：都市計画区域

〔財源内訳〕 一般財源 1,770 万円

■＜新規＞都市計画基礎調査事業（802 万 7 千円）

（担当課：都市計画課）

都市計画に関する基礎調査として、人口規模、産業分類別の就業人口の規模、市街地の面積、土地利用、交通量等に関する現況及び将来の見通しについて調査します。

対象区域：萩市全域

〔財源内訳〕 土木費県委託金 401 万 3 千円、一般財源 401 万 4 千円

＜教育委員会事務局予算の概要＞

◆予算編成の考え方

「萩市ひとづくり構想」の基本理念である、「新しい時代を切り拓くひとづくり」を実現するため、創造（広い視野を持ち、新たな視点から考える人）、挑戦（現状に甘んじることなく、未来に向かって果敢に挑む人）、協働（人との関わりを大切にし、社会のために共に行動する人）を目指すひとの姿として、学校教育、社会教育、文化・芸術、スポーツの各分野において施策を展開します。

特に、学校教育においては、小中一貫の9年間を見通した教育により、児童生徒の資質・能力の向上を図るとともに、ICT機器や地域の特色を生かした学校・地域連携カリキュラムを実施する中で、一人ひとりが将来に向け、志を立てていく志教育を一層推進します。

また、市民が新たな物事にチャレンジするきっかけとなるように、「未来を切り拓くひとづくりセミナー」の開催やアスリートの合宿誘致に伴う中高生への指導、萩・明倫学舎に整備する市民ギャラリーや市役所ロビーコンサートへの参画促進などにより、各分野で活躍している方に触れる機会を創出します。

幼少期から生涯にわたり学びの場でもある図書館では、読書が困難な方も利用しやすいように読書環境を整備します。

さらに、子育て世帯への経済的負担の軽減を図るため、市内中学校へ通学する生徒の給食費を助成します。奨学金については、萩市に定住の意思がある若者の教育の裾野を広げるため、貸与型奨学金の返還支援制度の準備を進めていきます。

◆主要事業の概要

■＜新規＞奨学金返還支援事業（5万円）

（担当課：教育政策課）

大学等の高等専門教育への進学を支援するため、萩市に定住する若者の奨学金返還の経済的負担を軽減する「奨学金返還支援制度」の令和5年度からの開始に向け、周知及び事前登録者の募集を行います。

登録対象者 萩市に定住する意思があり、日本学生支援機構等から奨学金の貸付を受けている方

対象者 登録後に大学等を卒業し、萩市に定住する方

補助額 返還した奨学金の1／2相当額（令和5年度～）
（年間上限8万9千円×最長5年間）

〔財源内訳〕 一般財源 5万円

■＜新規＞小中学校トイレ改修事業（2,247万4千円）

（担当課：教育政策課）

各家庭における洋式トイレの普及状況や災害時の避難所としての機能向上を図るなどの観点から、小中学校のトイレの洋式化を推進します。

対象校：椿東小学校

（市内各小中学校のトイレ洋式化を計画的に実施予定）

〔財源内訳〕 教育費国庫補助金 700万2千円、市債 1,460万円
一般財源 87万2千円

■＜新規＞子育て世帯応援学校給食費助成事業（4,688万8千円）

（担当課：学校教育課）

子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育て環境の充実を図るため、市内に住所を有し、市内の中学校に通う生徒の学校給食費を助成します。なお、就学援助制度等により、給食費の負担が軽減されている生徒は対象外となります。

〔財源内訳〕 一般財源 4,688万8千円

■＜新規＞「宝くじふるさとワクワク劇場」開催事業（170万円）

（担当課：文化・生涯学習課）

市民に元気と活力を与えるとともに、市民の文化振興の向上を目的に、一般財団法人自治総合センターの宝くじ文化公演事業を活用し、「宝くじふるさとワクワク劇場」を開催します。

開催予定日：令和4年11月27日（日）

開催場所：萩市民館 大ホール

内 容：落語家、漫才、コント等による「お笑いオンステージ」と、吉本新喜劇と地元出演者（公募）による「ほのぼのコメディ劇場」の2部構成にて開催

〔財源内訳〕 雑入 170万円

■＜新規＞スポーツ合宿誘致推進事業（58万6千円）

（担当課：スポーツ振興課）

スポーツ合宿の誘致を行い、児童、生徒、学生及び指導者との交流を促進し、交流人口の拡大やスポーツ競技水準の向上を図ります。

事業内容：市内で合宿を行う団体等に対して、市内宿泊施設への宿泊費等を補助

補 助 額：1団体 8万円（上限）

〔財源内訳〕 一般財源 58万6千円

■＜新規＞萩・須佐図書館LED照明設置事業（810万円）

（担当課：萩図書館）

萩図書館と須佐図書館の照明設備をLED照明へ交換することにより、図書館環境の改善を図り、省エネルギー化するとともに、長寿命化によるメンテナンス費用を削減します。

事業内容：萩図書館 設備設計業務委託
須佐図書館 設備設計監理業務委託、LED照明設置工事

〔財源内訳〕 市債 810万円

■＜新規＞視覚障がい者等の読書環境整備事業（128万6千円）

（担当課：萩図書館）

視覚障がいなどによって読書が困難な方が利用できる書籍の購入や音声パソコンを更新することにより、視覚障がい者の方などへの読書環境の充実やサービスの向上を図ります。

事業内容：点字図書、拡大図書、LLブック、オーディオブックの購入
視覚障がい者支援用パソコンの購入

〔財源内訳〕 あなたのふるさと萩応援基金繰入金 120万円、一般財源 8万6千円

＜消防本部予算の概要＞

◆予算編成の考え方

全国各地で大規模な災害が毎年のように発生しており、今後も地球温暖化に伴う異常気象による短期集中的豪雨や南海トラフ地震など、より大規模な自然災害の発生が懸念されています。また、人口減少や高齢化の進展による人口構造や社会環境の変化は今後も消防需要に大きく影響すると予想される一方で、消防団員の減少などの地域防災力の低下が懸念されています。さらに、新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じ、救急や消火をはじめとした必要な業務を継続できる体制の確保が必要とされています。

こうした中、市民の安全・安心の確保は、本市における消防防災行政の基本的な責務であるとともに、地域社会活性化への重要な課題でもあります。このような観点から、引き続きあらゆる災害等に対して揺るぎない体制を整え、ふるさとの住みよい社会環境を維持していくことが必要です。

このため、将来にわたって持続可能な体制の整備が必要であり、災害情報を一元的に把握し、効果的・効率的な応援体制が確立できるよう、専門性の高い通信指令体制の整備・確立に向けて引き続き他市との共同運用を推進します。

また、萩市消防署の化学ポンプ自動車及び小型動力ポンプ付積載車を更新するとともに、水利不便地区に防火水槽を整備し防火体制を強化します。

近年、地域社会と密着した消防団活動の重要性が再認識されており、本市においても消防団を中核とした地域防災力の充実強化を推進しています。消防団車両の更新、安全帽、防火服の更新など施設・装備の充実を図るとともに、女性や学生など幅広い年齢層への消防団入団への呼びかけや、消防団協力事業所制度の啓発と認定事業所の拡充など、地域住民と密着した消防団活動がより有効に機能し、消防本部及び消防署並びに消防団が一体となり、あらゆる災害に的確に対応する消防体制を確立し、市民の皆様が今以上に安全・安心に暮らせるよう「生活基盤の充実した住みよいまちづくり」を目指します。

◆主要事業の概要

■消防指令センター共同整備事業（463万2千円）

（担当課：消防総務課）

本市、山口市及び防府市において消防通信指令業務を共同運用し、専門性の高い指令業務を専従化することで、複雑多様化する災害に備えた地域防災力の強化を図るとともに、通信指令設備整備及び維持管理に係る経費の削減を図ります。

事業期間：令和3～6年度

総事業費：52億8,338万9千円（うち萩市負担分15億3,931万円）

事業内容：システム調達支援業務委託（3～4年度）
システム構築監理業務委託（5～6年度）
システム設置工事（5～6年度）

〔財源内訳〕 消防費負担金 69万4千円、市債 370万円、一般財源 23万8千円

■常備消防車両整備事業（9,228万3千円）

（担当課：消防総務課）

消防力の充実・強化を図るため、常備消防車両を計画に基づき更新しています。

令和4年度は、萩市消防署の消防化学ポンプ自動車及び小型動力ポンプ付積載車を更新します。

〔財源内訳〕 消防費負担金 1,096万4千円、消防費国庫補助金 1,918万1千円
市債 6,200万円、一般財源 13万8千円

■消防団車両整備事業（4,790万9千円）

（担当課：消防総務課）

地域防災力の強化を図るため、消防団に配備している消防車両68台を計画に基づき更新しています。

令和4年度は、明木自動車分団、福栄第1分団のCD-1型消防ポンプ自動車、福栄第4分団の小型動力ポンプ付軽積載車を更新します。

〔財源内訳〕市債 4,780万円、一般財源 10万9千円

■防火水槽整備事業（3,612万8千円）

（担当課：消防総務課）

防火体制の強化を図るため、消防水利の乏しい地域に防火水槽を整備します。

事業期間：令和3～5年度

設置箇所：三見床並地区、惣ノ瀬地区、小川2区

事業内容：三見床並地区	設置工事
惣ノ瀬地区	設計業務委託
小川2区	設計業務委託

〔財源内訳〕消防費国庫補助金 274万3千円、市債 2,380万円
一般財源 958万5千円